大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　四月九日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

外蒙國境線に於る ソ聯軍の戰備！

侮り難き赤色下の外蒙の現狀

機械化兵團に全力

滿蒙國境線不確定に因由する日滿、蒙軍の紛爭事件は本年に入つて早くも十指を屈するの多數に及び軍用航空機による不法爆擊は目下判明せるもののみでも三月廿九日、同卅一日の二回に亘り、就中第一回の不法爆擊では我軍戰死一負傷四の損害を出した、昨年中ソ聯空軍による滿洲國境の侵犯事件は實に廿二件に達しうち六件は滿洲國境の人煙稀な地域で行はれてゐるが去る三月卅一日の如きソ聯外蒙機十二機が堂々翼を連ねて國境線を侵犯、滿洲國領深く突入したことは前古未曾有であるこの一事を以てしても外蒙古に於るソ聯の軍事的支配權、對日滿戰備が如何に周到に準備されてゐるかゞ想像されるであらう滿洲國に於る治安が正調に復し日滿兩國軍の國境線への關心が增大するに從つて國境紛爭事件は今後愈々增加し國境線に於る緊張は益々倍加されるに至るであらう事は豫見されるところであつてこの際外蒙古とソ聯邦との關係を再檢討し外蒙古の認識を新にする事も必要であらう

□

外蒙古が軍事的に見てもソ聯邦にとつて極めて重要な地域であることは想像に難くないそれは若し外蒙古がソ聯の羈絆を脫して見た場合を考へて見ると事態は極めて明瞭である即ちシベリヤの心臟部ウエルフネウヂンスクは一擊の下に粉碎されチタ以東は西部ソ聯本土と完全に遮斷、極東軍廿五萬將兵の死命は全く制約される、精銳を誇る極東軍も本土より交通通信を遮斷され糧食が杜絕しては萬事休すである、そこでソ聯としても外蒙赤軍化のモットーの下に軍備充實に全力を傾注、ソ蒙軍事密約さへブリユツヘル極東軍司令官とデシト外蒙陸相との間に成立を傳へられてゐる程である、右密約によればソ聯邦はチタより外蒙古首都庫倫に至る定期航空路開設のため外蒙古政府に一千萬金留の借款を提供し、ソ聯軍事教官の大量增員を圖るほか、緊急の必要ある場合は赤軍の外蒙古國內通過の保證をとりチタ庫倫間の軍用鐵路の敷設を約束したものである、現在外蒙古に駐屯してゐるソ聯派遣軍は約五ケ師團に及び滿洲國接壤地帶たる桑貝子、ボイル湖の南岸ハルハ河に沿ふ一帶に配置され

一、ウラン・バートル・ホト（庫倫）には騎兵機關銃隊混成兵二千、砲四門、高射砲七門、重機關銃百卅、輕機關銃二百四十、戰車八臺、裝甲自動車十八臺の外二百機を收容する大格納庫一と外に普通格納庫二を有し、ボラフ空軍第九大隊長は爆擊機廿一機、偵察機廿三機を率ゐ一昨年の夏着任連日國境線偵察に、訓練に從事してゐる

一、對滿洲國軍事行動の基點を爲す桑貝子には四百五十機の軍用機が常駐すると云はれ庫倫駐屯部隊もサンベーズに移駐したもの多しと傳へられて居る

一、滿洲里に程近きケルレン河の左岸チエチエハン飛行場には約三十機の爆擊機が待機

一、赤軍自動車隊、騎馬隊はハルセン廟附近に派遣、逐次巡ラ、またボイルノール附近、イワブルフン廟等には騎兵旅團、步兵團が駐屯

一、機關銃隊、砲兵部隊、戰車隊、騎兵隊はハンヘンテにあり同地には木造兵舍が新築され八十の蒙古包が造られてゐる

一、外蒙古派遣軍への補給を掌る赤軍經理部は西部ウリヤスタイにある

このほかツヂアンシアピ、エルデニツズウには各一個聯隊、フンザールにはパルチザン部隊、賣買城には軍需工場、飛行場、格納庫、軍學校等があり滿洲國境にはロッチラ中佐を指揮官とする東部國境警備隊が第一線をオレンサブハイシトロガイ間（日本里にして約三百里）に敷き二千五百の正規兵が駐屯し第二線はゴルフンバイン―ホルンデルス間（二百里）におき約二千名を配備、第三線をウゴームルータムスク間（百里）に築きウゴームルに兵五百、タムスクに兵五百、野砲二十、戰車五、野砲十八、戰車三を待機せしめ前衞部隊は國境線の日滿警備軍に對し不法挑戰的態度を繰返して居るのである

□

外蒙古に於るソ聯軍は、以上のやうな配備のほかに更に外蒙軍をその支配下に置き軍備の充實を期してゐる、目下ソ聯軍事教官によつて育成された外蒙古軍は約七萬五千に達し、飛行機、戰車、裝甲自動車、山砲、野砲等をソ聯軍より支給され、近代的裝備の充實につとめてゐるほか、外蒙軍中の優秀部隊、騎馬隊がウラン・バートル・ホトに一個軍團、桑貝子に一千の遊擊隊、ハンヘンテ、タムイブラークに夫々一個大隊宿駐し、沙漠に於る敏捷行動隊としての精銳を誇つてゐる、さらに桑貝子には外蒙青年五百を選拔し共產主義の速成教育を施し、興安省一帶に潛入せしめ萬一の場合日滿軍の後方攪亂を企圖してゐる、この他ウランバートルホトには軍官學校と陸軍大學校があり目下兩校併せて三千五百の在校生を擁し優秀將校の養成に任じ外蒙に於けるニユースは同じく庫倫に强大無線電信臺が設置され隨時モスクワと交信してゐる外蒙國境線に於ける衝突事件は縱橫に張り廻らされた通信網により桑貝子、庫倫に速報され、庫倫より直ちにモスクワに無線放送されモスクワより全世界に放送宣傳される、科學兵器の供給はソ聯より援助されるもの〻外昨年エリウエドモフ少將が技師三十名を率ゐ入蒙、兵器廠に近代的裝置を施し各種兵器の製造を開始前線部隊への供給を行つてゐる

□

軍事方面の赤軍化と平行的に行はれた政治經濟部門に於る赤化は先般の外蒙古政府首相一行のモスクワ訪問によつて劃期的躍進を示し、政治上に於る第三インターの指導權は今や牢固として拔き難き迄に確立され、第三インターの在蒙ソ聯顧問部の最近に於る活躍は顯著なものがある、去る三月十二日モスクワで締結された「ソ蒙相互援助條約」はソ蒙兩國の不可分關係を更に法的に確認强化したもので、ソ聯邦の外蒙古に於る發言權は絕對的となり今後ソヴイエト政策の實施に不可避的な拍車がかけられ、過去十年の赤化によつて基礎づけられた好個の赤色地盤外蒙古は極東の中樞部に共產國家としての飛躍的發展を見せるべくコミンテルンの極東への三赤色ルートはその一つを玆に完成を告げる事とならう

斯くて、外蒙古の赤色の完成はソ聯にとつては、一は滿洲國と、外蒙との接觸を遮斷し二は日本の大陸進出を阻止する防壁の完成であり、三は實に東洋への赤化の通路の一を完成する事であり更に目下工作中の新疆、甘肅、陝西、四川湖南、湖北、江西、福建へのルートが支那共產軍の强化によつて完成するの日が來ればその時こそはコミンテルンの東洋侵出は事實上半ば成功したと稱しても過言でない、そのあかつきは、東洋の安定勢力を以て任じ極東平和の確立を國是とする日本に對する絕大なる直接的脅威を及ぼすことは明瞭である、赤色外蒙古の積極的動きによる對日滿紛爭の歸趨こそ東洋赤化の成否を握る鍵であり、日本の盛、不盛の關するところでもあり滿洲國は勿論共同防衞の直接の責任を擔當ずる軍部が深甚の關心を拂つてゐる所であるしかし外蒙古との紛爭事件は今後日滿ソの宿命的な對立關係の具體的事象として全世界の視野の中に登場して來るであらう

來る十五日より 全滿領事會議

植田新大使來任後最初の全滿領事會議は來る十五日より大使館に於て開催される事になつたが同日は奉天、新京、吉林、ハルビン 間島各總領事始め全滿領事出席新大使の訓辭を受けたる後種々意見の交換が行はれる筈で同日夜は大使の招宴が官邸に催される豫定

孝宮樣 學習院御入學

【東京國通】女子學習院前期一年に御入學の孝宮樣には八日入學式に御參列のため初の御登校を遊ばされた、豫て此の日を御待兼ねの孝宮樣にはこの朝中期一年御進級の始業式に臨ませられる照宮樣と御一緒に入學式に御參列遊ばされ十時十分御歸還あらせられた天皇、皇后兩陛下にはいたく御滿悅にて御歸還遊ばされた照宮さま、孝宮さまに御祝膳を賜つたと承る

部內の要望を滿す爲の 陸相の發言重視

政治的に强硬なる態度で

【東京國通】軍司令官、師團長會議第一日に於ては寺內陸相の肅軍に關する熱誠な決意表明により各軍司令官、師團長とも寺內陸相始め中央部の肅軍精神に燃える

熾烈 なる氣魄を深く認識するところあつたが今次事件を惹起した因たる積弊のせん除、國政一新の問題がその儘に殘され事態が何等改善されざるに於ては如何に青年將校の政治的行動を强壓するも何時か再び事變の勃發なきを保し難きを以てこの點に關し寺內陸相の重大決意と積極的態度を希望期待してゐる點に於て軍司令官師團長何れも一致してをり陸相の蹶起を熱望してゐる、然し寺內陸相としても訓示中將校の政治的關心に言及し國政一新、軍備擴張は軍規の肅正と共に陸相就任の三大使命である旨を確言しこれが具現は軍に於て陸軍大臣以外に許されざる所以を反覆說示、軍人個々の政治的行動を嚴禁してゐる關係にあるを以て今後はその重大使命とする肅軍達成の上から見るも廣田內閣を鞭撻してその使命とする國政一新と軍備の擴充を具現せしめざるを得ざる立場にあるので寺內陸相の地位は極めて微妙重大性を倍加する事となつた譯で、寺內陸相は今後此部內の

要望 を滿すため相當政治的に强硬な發言を行ひ廣田首相に迫るものと解される

吉田司令官 新京發歸連

練習艦隊司令官吉田中將は滯京一日、植田軍司令官との會見、皇帝陛下に謁見、滿洲國要路と會見を爲す等意義ある海陸交驩、日滿交驩を行つたが九日午前九時發「はと」で日滿官民多數見送裡に大連に向つた

軍團長會議第一日 肅軍問題が中心

首腦の意見全く一致

【東京國通】寺內陸相の秋霜烈日的肅軍訓示と梅津次官の補足的講演で軍司令官師團長會議第一日午前の日程は異常な緊張裡に終りを告げ、一同陸相官邸に於る寺內陸相招待の午餐會に臨み會食後午後一時より官邸大廣間に於る寺內陸相始め中央部と各軍司令官師團長の懇談に移り寺內陸相より午前と同樣熱烈なる信念を披瀝したる挨拶あり、梅津次官、磯谷軍務局長より重要報告をなした後軍司令官、師團長側より交々軍紀肅正、統帥權等の恪順、軍隊の精神的團結强化、青年將校の政治的行動等に關し率直赤裸々なる意見の開陳が行はれた、會談は內容が重大なるだけに異常の緊張を示し午後四時過ぎ漸く終了を告げ引續き午後五時より陸相主催の晩餐會に移つたが、右懇談會の結果は陸軍中央部、軍司令官 師團長とも肅軍に關する根本方針に於ては全然意見一致し協力一致國軍の更生再建のため渾身の努力を拂ふこととゝなり肅軍上劃期的成果を收めて散會した

滿洲國特許發明法（二）

第十六條　公務員か公務に關し爲したる發明に付ては前條の規定を準用す

第十七條　特許出願に係る發明か軍事上秘密を要し又は軍事上若は公益上必要なるものなるときは政府に於て特許請求權を收用することを得

前項の規定に依り權利を收用する場合に於ては政府は相當の補償金を特許請求權者に支給す

第十八條　特許發明か軍事上秘密を要し又は軍事上若は公益上必要なるものなるときは政府に於て特許權を收用し特許を取消し又は特許發明を實施することを得

特許權の收用ありたるときは其の特許發明に關する特許權以外の權利は消滅す

第一項の規定に依る收用、取消又は實施の場合に於ては政府は相當の補償金を特許權者又は實施權者に支給す

第十九條　第十七條並前條第一項及第三項の場合に於ては別に定むる特許收用審査委員會の議を經ることを要す但急迫の必要あるに因り特許發明を實施する場合に於ては此の限に在らす

第二十條　國か特許權者なるときは特許收用審査委員會の議を經るに非されは政府は其の特許權を移轉し又は其の特許發明の實施の許諾を爲すことを得す

前項の規定に依り實施の許諾を受けたる者適當に其の特許發明を實施せさる場合に於ては政府は利害關係人の請求に依り又は職權を以て其の實施權を取消すことを得

前項の取消を爲すに付ては特許收用審査委員會の議を經ることを要す

第二十一條　第十七條、第十八條及前條に規定する政府の處分に關しては別に之を定む

第二十二條　外國人は本法に依り特許權又は特許に關する權利を享有することを得す但帝國人民の發明に對し保護を與へす又は不完全なる保護を與ふる外國の國民に對しては勅令を以て別段の定を爲すことを得

第二十三條　特許に關し條約に別段の規定あるときは其の規定に從ふ

第二十四條　本編又は本編の規定に基きて發する命令に依る法定又は指定の期間の計算は左の規定に依る

一、時間の初日は之を算入せす但其の期間か午前零時より始るときは此の限に在らす

二、期間を定むるに月又は年を以てしたるときは暦に從ふ月又は年の始より期間を起算せさるときは其の期間は最後の月又は年に於て其の起算日に應當する日の前日を以て滿了す但最後の月に應當日なきときは其の月の末日を以て滿了す

第二章　特許權

第二十五條　特許權は登錄に依り發生す

第二十六條　特許權者は物の特許發明に在りては其の物を製作し及之を使用、販賣又は擴布するの權利を專有し方法の特許發明に在りては其の方法を使用し及其の方法に依りて製作したる物を使用、販賣又は擴布するの權利を專有す

新規なる同一の物は同一の方法に依りて製作したるものと推定す

特許權か其の出願の日前の出願に係る意匠權と牴觸する場合又は特許發明か其の出願の日前の出願に係る特許發明若は登錄意匠を利用するものなる場合に於ては特許權者は其の特許權者又は意匠權者の實施許諾あるに非されは其の特許發明を實施することを得す

第二十七條　特許權の效力は左の各號の一に該當するものに及はす

一、研究又は試驗の爲にする特許發明の實施

二、單に帝國內を通過するに過ぎさる運輸具又は其の裝置

三、特許出願の際より帝國內に在る物

第二十八條　特許出願の際現に善意にて帝國內に於て其の發明實施の事業を爲し又は事業設備を有する者は其の特許發明に付事業の目的の範圍內に於て實施權を有す

第二十九條　同一發明に對する二以上の特許中其の一か無效と爲りたる場合又は特許を無效とし同一發明に付正當權利者に特許を與へたる場合に於て原特許權者及某の特許發明の實施權者か特許の無效評定請求の登錄前に帝國內に於て善意にて其の發明實施の事業を爲し又は事業設備を有するときは其の特許發明に付事業の目的の範圍內に於て實施權を有す

特許出願の日前又は之と同日の出願に係り其の特許權と牴觸する意匠權の存續期間滿了したる場合に於て其の登錄意匠の實施權者は其の特許發明に付原實施權の範圍內に於て實施權を有す

特許權者は前二項の規定に依る實施權者より相當の補償金を受くる權利を有す

第三十條　特許出願の日前又は之と同日の出願に係り其の特許權と牴觸する意匠權の存續期間滿了後に於ける原意匠權者は其の特許發明に付原權利の範圍內に於て實施權を有す

人事往來

▲松岡滿鐵總裁 藤井秘書 ▲吉田中將（練習艦隊司令官）九日午前大連より ▲角田大佐（磐手艦長）同 ▲中村大佐（八雲艦長）同 ▲竹下州廳長官 同大連より ▲大和田州廳庶務課長 同 ▲高柳豫備中將 同 ▲加藤泰氏（羅紗商）九日午前奉天へ ▲藤岡一齊氏（東拓技師）同 ▲小味淵肇氏（滿鐵地方部工務課）同 ▲中村英氏（滿洲發明協會主事）同 ▲山本隆太氏（滿鐵）同 ▲篠原德兵衞氏（貿易商）同 ▲西村陽祐氏（富士通信機製造會社）同 ▲秀村得一氏（東亞調査審査役）同 ▲三宅瑯氏（滿洲開發會社）同 ▲加賀左金吾氏（山中電氣）同 ▲小林悌一郎氏（富士電氣）同 ▲吉田半治郎氏（貴族院議員）同 ▲江崎文一氏（新聞記者）同 ▲佐々木虎雄氏（鐵道用品輸入商）同 ▲中山喜久馬氏（關西ペイント會社）同 ▲薄田精一氏（會社員）同 ▲高久裕助氏（富士電氣）同 ▲武田確忠氏（海運業）同大連へ ▲山本專之助氏 同神戶へ ▲衞藤秀吉氏（鑛業）同 ▲阿部虎男氏（阜新縣參事官）同錦州へ ▲高田昌彥氏（商業）同ハルビンへ ▲加藤光雄氏（安東區專批發處顧問）同安東へ ▲林英男氏（天津軍司令部）同天津へ ▲鈴木健次郎氏（市公署官吏）同來京名古屋ホテル ▲遠藤富太氏（同）同 ▲小海淳三郎氏（同）同 ▲黑田啓氏（實業家）同 ▲佃一雄氏（商業）同 ▲山崎義政氏（東拓社員）同 ▲大迫元光氏（鐵路總局）同 ▲桝谷寅吉氏（代議士）同ハルビンへ ▲畔柳德四郎氏（稅務監督州稅係長）同奉天へ ▲麻生軍幸氏（滿洲ビール會社）同 ▲北村正雄氏（錦州省公署）同錦州へ ▲小林幸雄氏（藥種商）同奉天へ ▲泉哲氏（滿鐵囑託）同 ▲石田武彥氏（奉天商工會議所）同奉天へ ▲伊東義節氏（極東企業社員）同來京ヤマトホテル ▲小日山直登氏（北滿金鑛社長）同 ▲石渡周治氏（コロンビヤ會社）同 ▲田中乾一氏（鑛山業）同 ▲上野靖氏（工業土地會社）同 ▲松下芳三郎氏（間島省總務廳長）同 ▲石渡庸元氏（醫療機械商）同 ▲小谷晴亮氏（會社員）同大連へ ▲加藤彬氏（沖電氣）同 ▲峰村鹽次氏（チチハル商工會議所）同奉天へ ▲上田銃氏 同 ▲山岸守永氏（滿鐵社員）同撫順へ ▲加來徹夫氏（滿洲自動車運輸）同奉天へ ▲吉田電業社長 同大連へ ▲入江同副社長 同 ▲孫徽氏（滿洲石油會社理事長）同

團體

▲蒙古旗長團十六名 九日午前九時奉天へ ▲練習艦隊乘組員五名 同九時五分ハルビンへ ▲滿洲國協和會訪日旅行團五十名 奉天へ

乳房ある悲み

（五十三）

中西伊之助 作　泉武久 畫

文化住宅（十一）

玉汝は、その慌ただしげにかけて來た一宮の顏から視線をそらして默つて俯向いた。

『かへりませう、お兄さんがどうして默つてかへつたんだらうといつて心配してゐられます』

そこへ、電車が猛然と驀進して來た。

『危い！危いですよ！』

線路の中に突ッ立つてゐた玉汝を一宮はあわてゝ外へ押し出した。颶風を起して電車は過ぎ去つた。

『さあかへりませう、あなたが何もお考へになる理由はないんです、あの榊原って奴は實に怪しからん奴です！あんな奴は社會的に葬つてやらないといけません、僕はあの時すぐとび出して彼奴をなぐりつけてやらうかと思つたんですが、お兄さんの親友だつてことでしたから、仕方なしに默つてゐたのです』

『………』

『だから、何もあなたに責任はありません、僕はなぜあなたがあの榊原って奴を手きびしく面罵されないのかと思ひましたよ、彼奴はあなたやお兄さんを頭から輕蔑してかかつてゐるんです！あの宵からの傲慢な態度はどうです、まるで世界を征服したやうな面をしてゐるぢやありませんか、その上更に大垣の奧さんが彼奴を有頂天にさせたんです』

『………』

一宮はしきりに憤慨するのを、玉汝は默つてきいてゐた。その間に、彼女は少しづゝ冷靜になることができた。

『もう遲いです、早くかへりませう』

と、彼は幾度も促した。

『電車はまだあるかしら』

玉汝は、やつと口を利いた。

『まだあります、麹町へおかへりになるんですか？』

『えゝ』

『では、僕お送りしませう』

『いゝんです、一人でかへりますわ』

『いけませんよ、また榊原みたいな奴がとび出しますよ』

『あの方、どうしました？』

『あの方つて、あの榊原ですか？』

一宮は、少しく意外なやうにきいた。

『えゝ』

『さあ、どうしましたかね、僕が家をとび出した時、緣側で大垣の奧さんと何かいつて大聲で笑つてゐましたよ、圖々しい野郎ですね』

『大垣の奧さんと？』

『えゝ』

『どんなことをです？』

『さあ、どんなことか知りませんが、彼奴のことですから碌なことはいつてゐませんよ』

『………』

『でも、あの方は、文壇では隨分有名な方だつていふんでせう？』

『僕は讀んだことはありませんが何んだか方々の雜誌に書きますね、しかし、そんなことゝ人物とは違ひますよ、偉さうなことをいくら書いてゐても、あんな下劣なことをする奴の書いたものは三文の値打ちもありませんからね』

『まあね、でも、今の社會では、あゝいふ人ほど無茶をするやうね、あんな人が近代人といふんでせう？』

『そんなばかなことはありませんよ』

一宮は、あゝした下劣な男に對する玉汝の憎惡心が、案外稀薄なのに驚いた。この女は、あの男をどう考へてゐるのだらう？

尊き研究の犠牲 高橋博士遂に逝く

自ら製造中の試藥に感染

我滿洲チブス研究の泰斗

各方面から惜しまれてゐる(寫眞は高橋博士)

滿鐵新京醫院病理科醫長高橋權三郎博士は今曉午前三時新京分院で遂に逝去した、同博士は昭和二年渡滿以來滿鐵衛生研究室に入り兒玉博士とゝもに滿洲チブス、發疹チブスの研究に沒頭し終ひに昭和八年滿洲チブス菌を發見し醫學界につくせる功績は偉大なるもので今回も新京醫院病理室において滿洲チブス菌の試藥製造中さる先月十一日自ら養成したチブス菌が感染して發病尊き醫學研究の犧牲者となつたもので同氏の逝去は世界醫學界を始め日滿洲

滿洲チブスの事實上の權威

惜しまるゝ故博士

長逝した高橋博士とは慶應大學での同窓の前滿鐵新京醫院婦人科醫長今出博士は暗然として語る

高橋君は自分より一級下の同窓だつたが、稀に見る學者肌の人でほかに道樂といつてなかつた、滿洲チブスの最大權威で例の兒玉博士の蔭にかくれて表面には出なかつたが、事實は兒玉さん以上の學界の功勞者であつた、君はまた人情に篤く常に他人の面倒を見、その結果大變貧乏してゐたやうであるが食客の絶え間がなかつたほどで、今日君の長逝を知つて實に哀悼の念に堪へない

塚本院長 暗然

塚本院長は故人を惜しみつゝ語る

高橋君のやうな世界的學者を失つたことは遺憾この上なく自分の弟でも去られたやうな氣持です、同君は滿洲チブスの研究に九ヶ年間寢食を忘れて研究を續けたもので實に惜しいことでした

慶應出の俊才

醫學界に偉大な功績を殘し惜まれつゝ犧牲となつた高橋博士は

明治三十二年一月二十日新潟縣に產れ昭和二年三月慶應義塾大學醫學部卒業、直ちに滿鐵入社滿鐵衛生研究所に入所、病理科で兒玉博士と共に滿洲チブス、發疹チブスの研究を續け貴重な論文だけでも二十有餘を發表し昭和八年五月以降新京醫院の病理科醫長として菌學研究のかたはら昨年七月から吉林の滿洲國立醫院附屬醫學校講師として毎週一回づゝ講義して名聲を博した得難き大家であつた

遺族は新發路の自宅に家衛子未亡人の外に男兒二名、女兒一名、實妹一名の五名で郷里には母堂がある

十二日白菊會館で滿鐵醫院葬

故高橋博士の葬儀は來る十二日午後二時から白菊會館において滿鐵醫院葬で營まれる

驛前をさ迷ふ朝鮮人少女 巡査に救はる

八日午前二時四十分ごろ酷夜中に只一人水兵服の少女が新京驛前廣場をさ迷ふてゐるのを驛前派出所星野巡査が發見派出所に同行事情を尋ねるとこの少女は原籍朝鮮江原道生れ吉林城內後衛街東濟醫院朴大完の妹朴寿芳=假名=といふ十五才になる娘で一週間程前齒科技生の試驗をうけるため奉天に赴き不注意にも旅費十三圓餘りを奉天で使ひ果して七日午後十時四十五分着列車で新京に着いたが宿るに錢なく訪ねるに知人なく思案に暮れてゐる間に驛は閉め出され全く途方に暮れてぶら〳〵廣場をさ迷つてゐたことが判りこの事情を聽いた星野巡査は彼女の不注意を戒めると同時に吉林の兄へ送金方依賴の電報を打つて金子のつくまで滿人宿に交渉して投宿させ金のつき次第宿錢を拂つて吉林に歸るやう便宜を與えた

植田軍司令官初巡視

植田軍司令官は二十日ハルビン、チチハル方面巡視に赴く筈

中學保護者總會

新京中學校では十日第一學年生の入學式を擧行し、當日多數新入會員が參集するのを機會に同日午前十一時から同校講堂で同校保護者會定時總會を開催するはず

一、奉答歌
一、學校長訓話
一、入學生總代誓詞
一、父兄總代挨拶
一、新入生徒總代挨拶
一、在校生總代挨拶
一、敬禮

中學修學旅行團 歸京遲れる

新京中學校北支修學旅行團一行八十一名は十日午後二時歸京の豫定のところ上海、青島間の航海荒天のため一兩日遲れる模樣である

マラソンの誇り 本野君榮轉 圖們驛貨物主任に

昭和六年以來國都陸上競技に多大の貢獻あつた新京驛貨物助役本野仁治氏は八日附圖們站貨物主任に榮轉近く赴任することゝなつた、同氏は早稻田大學出身で日本の驛傳競走に韋駄天本野の名を轟かした斯界の第一人者で昭和六年一月新京驛に着任以來國都陸上競技のリーダーとして今日の基礎を築き昨年本社主催の吉林—新京間驛傳マラソン競走には萬丈の氣焰を吐いた勇士であるが本年六日第二回の競技を前に新京からこの大選手を失ふことは新京スポーツ界の一大損失として各方面から非常に惜まれてゐる

上海日本高女の慰問繪葉書

【上海七日發國通】國境警備の重責にあたる出征將士を慰めたいと上海日本高女生が心盡しの慰問繪葉書はこの程出來上り陸軍武官室を通じて關東軍司令部宛送附分配方を申入れた、この心を込めた繪葉書は全然水彩畫で三月十日の陸軍記念日を期して筆を起し心をこめて書上げたもので主として上海風景が題材となつてゐる

新京中學四年生 北支旅行通信(三)

二組 麓和義

この頤和園は萬壽山、昆明湖を含み、實に巨大な範圍を占めてゐる。先づ湖光、麗たる昆明湖を背景に寫眞をとり、數々の天子の御休憩所、御慰安所であつた御殿を通つて有名な萬壽山の長廊に出る。その長さ約六百米、梁棟には彫刻を施して花鳥山水を描き、五彩美しき輪魚の美全く人目を眩する許りである。廊間には留佳亭、寄瀾亭寄配して變化を見せてゐる。附近にはすばらしい太湖石が散在してゐる。此の長廊の中央邊からいよ〳〵萬壽山に登る。けはしい岩石の突出した所に立派な御殿が並び、何百段とも知れぬ石段が整然として頂上まで通つてゐる。やつと頂上に辿着いて有名な湖光山色共一樓から濃雲嶺の景を眺めた時は實に西太后にでもなつた樣な氣がした。この昆明湖などは非常に水が清い。なんでもこの水は清水を以て名ある玉泉山から來てゐるそうだ。周ば約二里、青緑色に美しく小波をたてゝゐる。湖に懸つてゐる十七穴橋が小さく見える。これより西南は全然山はない。所謂直隸の大平原だ。西の方に景山と白塔山とが小さく並んで見える。こゝを下りて清宴舫に寄る。此處から舟で昆明湖を橫切り、淸朝の寶物等を集めた唯一の堂なる樂壽堂、玉瀾堂等の御戲台、排雲殿、玉瀾堂等の御殿を見學して頤和園を出る、この頤和園就中萬壽山こそ僕等の頭に最も深く印象を與へたものであらう。彼の西太后が巨萬の海軍充實費を流用したのは此處の建築に多く費した爲で、これを軍艦二隻に充當して造つたならば、日清戰爭にも彼程脆くは敗けなかつたらうと云はれてゐるが、斯うした藝術方面の事になると金を惜まないのが又支那氣分の一端ではあるまいか。再び自動車を返し今度は中山公園を見る。此處は明朝に造られた七壇の一なる社稷壇のあつた處だとのことである。從て第一に驚いたことは實にすばらしい亙木古木が鬱然として並び聳えてゐたことだ。それは主に柏の常綠樹であつた、又もう青々と芽を吹いてゐる可憐な芝生にも初春の感を十分味はふことが出來た。新京から來る時は外套等、とても暑くて着れまいと思つてゐたが、來て見ると案外涼しく、どうかすると外套を着てゐても少し寒さを感ずる位である。或時は春を愛し、或時は秋を愛する。しかし未だ春淺く寫條たる冬枯の面影を湛へてゐる此頃の自然は一層しみ〴〵と靜かな心を喚びさましてくれると云つた吉田絃二郎の言葉が思ひ出されるこの中山公園で面白いと思つたことは「公理戰勝」と書れた凱旋門であつたなんでも世界大戰でドイツの負けた時、イタリーやフランスの水兵達か、その前ドイツに負けた印として支那が造らされた門をぶち壞してその材料を以てこの凱旋門を造つたのださうだ。此處を出て疲れた體を車に載せ、本部、一、二、三、四、五班は日華ホテルへ、六、七、八班は扶桑館へと分れ。久し振りに宿の疊に旅裝を解くことが出來た。

愈よあすから "あじあ"時間變更

發着に御注意下さい

既報 滿鐵本線の橋梁架替其他工事施行のためいよ〳〵明十日より七月末まで特別急行「あじあ」はスピードを落す關係上從來の主要各驛における發着時間に變更を見ることとなつたが新京驛ではこれを一般に知らしめるため驛構內に掲示するほか今晚放送局からもニュースの時間に折り込んで一般に放送する筈である

▲下り=大連發九時、奉天着十四時八分、發十四時二十三分、新京着十七時四十三分、發十七時五十三分、ハルビン着二十二時三十分

▲上り=ハルビン發九時、新京着十三時三十七分、發十三時四十七分、奉天着十七時十分、發十七時十五分、大連着二十三時三十分

家事講習所 修了式終る

滿鐵新京家事講習所和服科十七、洋服科二十二名の修了式は九日午前十時から同所に於て擧行された、定刻一同着席君が代合唱武田地事所長からそれ〴〵修了證書を授與三ヶ年半皆勤中西玉枝二年皆勤稻垣鈴子兩氏に表彰狀を授與し所長の告辭、來賓青年學校本田校長、室町荒井校長の祝辭、修了者總代洋服科拓植梅子、和服科村上ヨシ子兩氏の答辭あり十一時半頃終了した

滿鐵記者クラブ

新京滿鐵記者俱樂部の臨時總會は八日午後五時から記念公會堂で滿日小松、大新京草部兩君の送別會を兼て開催した顧問伊藤太郎(鐵事出張所長)武田胤雄(地事所長)代理高山八十八、川原(ホテル支配人)假殿星磨(公會堂書記長)諸氏を始め會員全部出席晚餐を共にし歡談交へ盛況裡に散會した、なほ幹事改選の結果櫻川(國通)宇田(日日)兩氏に決定した

長岡氏夫人寄附

前國務院總務廳長長岡隆一郎氏夫人卯江子さんは滿洲國々防婦女會の顧問であつた關係から今度離滿に際し同會へ金五十圓を寄附、又同會からは記念として九日銀細工の"船"の置物を贈つた

あす(九日)

△長岡隆一郎氏離京、午前七時

△山口少將送別會、午後六時ヤマトホテル

△新京青年學校入學式、午後七時、商業學校講堂

△アジア發着時間變更(本日より)

△屠宰會社總會、午前十時ヤマトホテル

△國都建設局土地賣却開始

△新京中學旅行團歸京、午後二時

◇…今晚の主なる演藝放送…◇

▲七・〇〇花めぐり(第三日)—岡山縣津山市城趾より中繼—▼七・二五歌謠曲一、「啄木の歌」二、「白瀨の關」—津山市朝日劇場より中繼—▼七・三八東をどり「進め日本」(武の卷)—新橋演舞場より中繼—

來京の松岡總裁 植田軍司令官を訪問

九日午前八時五十分着列車で入京せる松岡滿鐵總裁は同十時關東軍司令部に植田軍司令官を訪ひ、板垣參謀長、秋永奧田兩中佐同席の下に滿鐵經營に關する一般的報告をなした、尙ほ同日午後六時半より官邸に於て軍司令官の招宴があるので松岡總裁、河本理事以下滿鐵首腦部列席の筈

貴金屬を盜む

京都市上京區笹屋町大宮生れ時武高雄(三五)は常盤町一丁目高橋嚴氏方寢室にさる三日午後二時ごろ侵入し鏡台上にあつた金側懷中時計時價四十圓金一本時價三十二圓、メダル一個を窃取したが八日午後三時ごろ常盤町徘徊中日高刑事に逮捕された

屠宰場公司 株主總會

さきに成立した新京屠宰場股份公司の第一回株主總會は十日午前十時からヤマトホテル會議室で開催、左記議案を附議するはず

一、公司成立の經過報告承認に關する件

二、康德三年度豫算承認に關する件

三、役員報酬の決定に關する件

接客業者の健康診斷執行

世は春、歡樂の候となつたので例年の通り新京署では四月廿日より五月八日迄記念公會堂に於て附屬地內接客業者一萬人の健康診斷を實施する事となつた

堀内アメリカ局長 外務次官に決定

駐支大使には白鳥公使か

【東京國通】重光外務次官は八日有田外相の手許に辭表を提出した、右は豫てより健康思はしからざるを理由に一時靜養したき意向を持ち、今回實現するに至つたもので有田外相は之を認め次官の後任にアメリカ局長堀內謙介氏を起用する事に決定、十日の閣議に附議した上發令する事となつた、尙駐支大使の後任に就ては有田外相の手許で詮衡中であるが東郷歐亞局長、桑島亞細亞局長、川越天津總領事前文化事業部長坪上貞二氏等の下馬評が專ら出てゐるが昨日歸朝命令を發せられたスエーデン白鳥公使も相當有力視されてゐる、何れにしても正式決定には多少の日數を要する見込みである

旗長一行出發

憧れの櫻咲く日本へ觀察に赴く蒙政部管下の旗長さん十三名は齋藤蒙政部事務官引率の下に九日午前九時新京發はとに乘込み驛頭見送りの蒙政部大臣齊王を始め蒙政部の役人や在京蒙古人達と暫しの別れ惜しんだがそれでも喜びを滿面に浮べつゝ南下した、一行は奉天、撫順、大連方面の視察を爲し十二日大連より乘船の豫定(寫眞は新京驛で)

共產軍 綏遠に入る

陝西省東北、山西の西北にの在つた共產軍は、北上して綏遠省に侵入した、綏遠省主席傅作義氏のもとに達した情報によれば綏遠省城の南方二百支里の淸水地方に約二千の共產軍侵入し、なほ包頭の南三十支里の地點も共產軍の進出する所となつた

駐日支那商務官 張新吾氏と決定

【上海七日發國通】國民政府實業部では日本貿易が逐次常態を取戾しつつある現狀に鑑み日支兩國商務關係の一層の圓滑を期する爲先程日本駐在商務官規定を設けたが既に人選を終り張新吾氏と決定、七日行政院會議に於て正式通過發令する事となつた

ドミニカ共和國 初代總領事來朝

【橫濱國通】七日正午ロスアンゼルスから橫濱へ入港した三井物產吾妻丸で中米ドミニカ共和國から橫濱駐在初代總領事マンネルヘル・マンソリアノ氏が夫人家族を同伴來朝した、同共和國は中米、西印度諸島中の小國で我國よりの輸出は綿布を主とし年々增加の一途をたどり昨年日本よりの輸出額は三百七十四萬九千九百八十二圓に達してゐる

スコツトランド丸 乘組員は避難

【鹿兒島國通】遭難した川崎汽船のスコツトランド丸は七日午前七時過ぎ遂に沈沒したが乘組員は全部避難し附近の島に上陸したものと見られてゐる

猛烈な颶風 米國中部を襲ふ 死者四百餘名

【ワシントン七日發國通】米國赤十字社發表によれば、七日中部諸州を襲つた颶風は旋風名物の米國でも珍らしく猛烈なもので死者四百二十九名を出した

第二世母國見學團 海軍省を訪問

【東京國通】非常時の母國見學にと去る三日橫濱入港のプレジデント・フーヴァー號で來朝した第二世同胞母國見學團四十數名は團長藤本健吉氏に引率されて七日午前海軍省を訪問した、海相代理の長谷川次官から我國の現狀を說明し今後絕對に二・二六事件の樣な不祥事が起る事はないからよくよく母國の眞の姿を正しく認識して貰ひ度いと懇切な訓示をなした

山岸選手の歐洲遠征中止

【東京國通】我庭球の覇者山岸二郎選手の歐洲遠征は四月上旬に實現期待されてゐたが同計畫が起されてから山岸選手の出發豫定期日までの期間が餘りにも短かつたため既に齋手を見た募金も支障を生じ又一部に山岸選手一人を歐洲に派遣しても骨折多くして技術的な收穫は僅少であるとの說も擡頭したので遂に一先づ中止される事となり八日その旨發表された

天氣と氣溫

明日の天氣 北西の風晴

日の出 前五時 五分

日の入 後六時 十六分

月の出 後九時五十四分

月の入 前六時 十 分

けふの氣溫 最高 七度一 最低零下三度

演藝と映畫

雪之丞變化大會
あすからの長春座

長春座 明十日よりの番組は「雪之丞變化」大會である第一篇より第三篇までを衣笠貞之助がカッチングを加へて總輯豪華版二十五巻にまとめたもので、美貌の女形雪之丞が大望を懐いて江戸乗り込みより三齊を自滅に陥れるまでの波瀾萬丈の物語りが待つたなしに見られると言つた趣向である、主演者は林長二郎を筆頭に伏見直江、千早晶子、嵐徳三郎、高堂國典、山路義人、志賀靖郎、南光明、澤井三郎等オールスターを動員、爛熟した衣笠貞之助の堂々たる監督手法に描かれてこの復讐傳記は絢爛たる歌舞伎情緒の中で厩例的興味を盛りあげる、蓋し日本時代映畫界に大きな足跡を記し得る巨篇ではあらう、編輯し直してあるから新しく一本の映畫として各篇と對照比較してみても興味深いものがあらう、キヤメラは杉山公平

△廿世紀フォックス社は來シーズンの大作として「ロイヅ・オヴ・ロンドン」を製作することになつたが、これはカーティス・ケニヨン原作のストーリー「ベル・リンガー」を基礎とするもので、ダリル・ザナック氏はシナリオ執筆のためH・P・リップスコーム氏を招いた

雜音

豐樂の「音樂映畫週間」なか／＼にいゝ當りである七日は中銀グラウンドでのラグビー歸りを吸集して補助椅子の出る盛況、音樂映畫も持つてゆきやうでは二番煎じ三番煎じでも生きる▼帝都の俳優人氣投票開票さる、高田稔の第一位は豫想の如く、霧立、伏見山路を並べて霧立がぐいと引離してゐるのは、ゲリー・クーパーの八七票、マーガレット・ユキの三一票と共に投票期間中に出演映畫が掲つてゐた爲であらう、阪妻の一四票は人氣の變遷を想はせ、立松晃の一票は案外▼ゲーブル、ガルボ、コルベール、ペアリイの名が見えるのは票數は少いが、ちよつと愉快な現象である

俳優人氣投票
高田稔第一位

帝都キネマが開館一週年記念の催しとして行つた映畫俳優人氣投票の開票は八日午後三時より警察、新聞社立會の下に行はれたが、結果は左の如く投票總數一六二二〇票中高田稔が第一位九六六七票を獲得、斷然物凄い人氣を示した
高田稔九六六七票、霧立のぼる二〇二票、伏見信子九九票、山路ふみ子九五票、ゲーリー・クーパー八七票、嵐寛壽郎五九票、マーガレット・ユキ三一票、片岡千惠藏三一票、阪東妻三郎一四票、森靜子五票、毛利峯子三票、大谷日出夫五票、田村邦男三票、クラーク・ケーブル三票、グレタ・ガルボ二票、クローデウト・コルベール二票、アンナ・スラン二票、月形龍之助、久松美津枝、御影公子、ウォーレス・ベアリイ、立松晃各一票

四月十日　舊三月十九日　金曜　壬戌　先負　破　牛宿

●一白の人　他人の依頼を引受くるも成就は困難なる日　丁と申と壬が吉
●二黒の人　他の言に迷はされず一路常業に直進すべし　丙と壬と癸が吉
●三碧の人　思ふ事成らず意氣消沈して不快に終るべし　丁と戊と壬が吉
●四緑の人　始めの元氣に反して故障のため憂鬱となる　丙と丁と戊が吉
●五黄の人　穏かなるやうなれど蔭に不安の潜むが如し　丁と壬と癸が吉
●六白の人　幸運に當りて熟誠なるは益々良化すべき日　丙と丁と壬が吉
●七赤の人　運氣盛にして萬事調達すべし起業縁組亦吉　丙と丁と癸が吉
●八白の人　進退度を超ゆれば運氣は平凡以下となる日　丙と丁と壬が吉
●九紫の人　進んで成らざる事なき日奮闘努力を吉とす　甲と庚と丑が吉

海外映畫短信

△ウオルター・ヒューストンは愈々舞臺劇「ドッドウオース」の映畫化に取り掛ることになつたこの戯曲は彼が過去二年間舞臺で主演して大當りしたものである、尚相手役はルス・チヤタートンてドッドウオース夫人に扮する

仙人掌

三笠町第一春飯店にゐる劉桂貞、吉林の日本カフエーにゐたといふだけあつて日本語がとても達者で唄など下手な内地人よりまし。名前は？と訊いたら「ヒロ子です、どうぞよろしく」と言つたです。齢十七にして、「生活と戀愛」には既に一家の言を吐く▲カフエーモンテカルロにのり子サンと云ふのがゐて「アンタの髪の恰好はヘップバーン型ですネ」と言つたら「アンタも人並以上のことは言へないのネ」と、褒め方が悪いと叱られた▼キヤピタルの柳律子タンと三島芳子タンがきのふ早稲田と滿洲國のラグビー戰を見物してゐた、そして見事なタックルがある度に盛んに拍手を贈つてゐたのは、春らしき光景でありました―

××時の問題××

滿洲國の銀行統制と中小産業者金融問題

滿洲國財政部は愈々滿洲内國銀行の整理統制に積極的に乘出し、弱體銀行の整理を行ひ改組、廢合を强行して基礎鞏固な健全普通銀行の確立に邁進することになつたと云はれて居る。併して傳へらる所によれば其數は現在の五十二行から年内に三十行内外にするとのことであるから相當思ひきつた銀行集中政策を採るであらうことは明かだ。

×　×

抑も滿洲にあつては從來外國銀行を除いては官營或は軍閥の所謂權力銀行以外普通銀行として見るべきものは殆どなかつたと云つてゐる。勿論從來と雖も銀行類似の金融業を營んで居た錢莊、錢舖、銀爐當舖、儲蓄會等あり、爲替賣買、預金、貸出等の一部又は全部を行ひ略今日の銀行と異ならない營業をなして居た。併し之等の金融機關は何れも規模小さく且つ特定地域及び人の利用機關に止り、何等の統制もなく勢力も微力であつた。併しこれらの機關は何れも地方的に其の地の産業と有機的に結合することによつて中小者的金融機關としての役割を果し、一方銀行と高利貸資本の中間的存在として地域的に不可缺のものであつた。

滿洲國政府は建國後金融制度の確立と、以上の如き諸多の金融機關の整理統制を目標に大同二年十一月九日銀行法を公布し

一、預金の受入と金錢の貸付又は手形の割引を爲すこと

二、爲替取引を爲すこと

以上を行ふ者を以て銀行とし、銀行業は、財政部大臣の認可を要することにした。其處で此の新制度の下に前記の諸機關は爾後銀行としての取扱を受けることになつた。即之ら前資本主義的金融機關は玆に資本主義機構内に於ける新銀行としてスタートを切つたわけだ。康德二年十二月末現在の概況左の如し

銀行數八八行（中内國銀行六五、外國銀行二三）

（内國銀行）

資本金	一三、三六〇、六〇〇圓
内拂込	一三、三〇〇、六〇〇
預金	一八、四八九、三九二
貸出	三三、六四四、三六二

内國銀行の一行平均は資本金二十萬七千圓、預金廿八萬八千圓、貸出五十萬二千圓に過ぎない。併し政府は兎も角此の微力な銀行を保護助長して將來を期したのであつた所が元來之らの銀行は何れも特殊金融機關として成立つて來たのであつて、新制度に順應すべく餘りに諸要素が缺乏して居り、從つて其の後の成績は見るべきものがなく、之を土台とする金融市場の開拓の如き餘りに思ひもよらぬことが分つた。之が今次の銀行整理を斷行するに至つた主なる理由であらう。

だが此方針は從來と雖も顧みられなかつたわけではなく徽溫的乍ら行はれて來た即ち本年一月の内國銀行數は五十二であるから昨年中に十三行を減少し、從つて預金貸出も之に追隨し前者は四百七十一萬餘圓、後者は三百八十四萬餘圓を何れも減少して居る。

×　×

扨て如斯銀行の整理廢合による大銀行主義への轉換方針が果して現滿洲國經濟機構に於て妥當なりや否や。元々銀行集中の趨勢は近世資本主義の必然的所產であつた。それは好むと好まざるとに關せず獨占資本主義の發展に伴ふ資本の大口需要に應ずべき蓋然性の下に行はれたのである。然るに今滿洲に於て行はれ、若くは行はれんとして居る銀行の整理廢合は、單に銀行それ自體の强力化以外に今の此大なる意義はない。然るに今日銀行に變形した在來の金融業は歷史的に特殊存在として其の地方の產業それ自體と結合し唇齒輔車の關係を保つて相互に依存して來たのである今日之らの機關は新らたなる組織に變り、尚且つ限られた小數を殘し消滅の運命にある。

所で問題は當然の結果として生ずる地方中小產業金融である。我々は既に日本に於ける大銀行主義による中小業者金融難の事實を知つて居る。今日日本の農村、中小商工業者疲弊の原因の一が玆にあること知るべきのみ。併して滿洲國が又此の轍を踏まざるやう警告したいのだ。そしてそれはさなきだに疲弊と困窮に苦しむ地方官民から金融の途を止めるに等しい結果になりはしまいか。

勿論現在の滿洲庶民金融機關として金融合作社、當[illegible]ある。が之を以て從來の[illegible]に代替せしむることは未[illegible]易ではない。筆者は滿洲[illegible]の現狀では地方的小銀行[illegible]により、其の地に即した[illegible]融方法を講ずるが寧ろ急務であると信ずるものである。して金融市場の開始とか全的金融統制は別に不動產銀或は大銀行の設立等を考慮することが妥當であると思惟するものである。（一九三六、四、七）（久慈　久）

郵貯簡保貸付金利三厘方引下げ
郵貯に就ては改めて考慮
遞信局に於いて對策決定す

【東京國通】遞信省では政府の低金利政策實施に伴ひ郵便貯金並に簡易保險貸付金の利子引下げに關する方策決定のため八日午後二時より省議を開き協議の結果郵便貯金に關しては甲種銀行並に貯蓄銀行の利下實施後に於ける事態の推移並に大藏當局の方針如何を見極めた上改めて考慮する事とし簡易保險金運用に關しては低金利政策並に農村對策の社會對策的意味をも參酌して自作農に對する貸付金の利子四分八厘を四分五厘に三厘方引下げ、その他公共團體に對する貸付金利率は現狀のまゝ据置く事とし來る十三日開かれる本年度第一回委員會に於て報告の上正式決定する事として四時半散會した

東京の乙種銀行團も利子引下決定
定期は三分五厘、當座二厘

【東京國通】東京預金利子協定に加盟する乙種銀行の首腦部は八日正午協議した結果定期預金は五厘下げの年三分五厘、當座預金は一厘下げの日步二厘、特別當座は一厘下げの日步六厘、通知預金は一厘下げの七厘とすることになり九日預金利子協定幹事會にかけた上十日より實施することとなつた

壺蘆島計畫　認可折衝だけ

壺蘆島築港五ヶ年計畫は愈々昭和十一年度より豫算に計上され四月一日より年度も更改したので愈々本格的事業に着手するが其の計畫案の内容は關係各方面より深甚なる關心を持たれてゐるも遲く共三月末迄には認可を豫想されてゐた大藏省に提出の豫算案が滿鐵對滿洲國間の同築港に伴ふ借款問題を繞る事務的手續きが遲延せるため遂に年度内に認可の指令に接せず計畫案の公表が出來得ない狀態であるが一方工事は既に決定的であり豫算案の認可も單に事務的折衝のみが殘され政府の認可は時間の問題に過ぎぬので既定の計畫案に依り事業はどしどし遂行され工事費は豫算認可の指令が到達するまで假拂の形式をとる事になつてゐる

年度末の國債總額百億に近づく
米穀特別會計は餘裕示す

【東京國通】大藏省發表によれば昭和十一年三月末現在に於ける昭和十年度末國債額は總額九十八億五千四百卅萬圓となり前年度末の九十億九千四十五萬四千圓に比し七億六千三百八十四萬六千圓の增加を示し百億圓突破は愈々目睫の間に迫るに至つた、尚米穀證券は三月末四億五千三百六十萬一千圓で前年同期の五億二千二百卅九萬圓に比し六千八百七十八萬九千圓の減少となつてゐるが、之は米穀特別會計の餘裕を示すものである

土建ニュース

▲牡丹江觀象臺子附屬官舍電氣工事　●營繕需品局
決定工事
落札九百九十八圓五十錢　大通電氣
一、〇九五・〇〇　啓通工業
一、二六五・〇〇　京津電氣

▲四平街郵局新築工事
落札七千九百八十圓　草場組
八、一〇〇・〇〇　阿川組
八、一〇〇・〇〇　長谷川組
八、三三〇・〇〇　菊地組
九、八七〇・〇〇　栗原組
第一回
八、二六〇・〇〇　草場組
八、三九六・〇〇　阿川組
九、三五〇・〇〇　長谷川組
九、六〇〇・〇〇　菊地組
九、八七〇・〇〇　栗原組

▲流江法院改修工事　●營繕需品局
豫告工事
▲右工事は六日決定するものなりしが再入札に付き二日延引されたるものなり
決定工事
▲天寶街附近車道碎石鋪裝並側溝築造工事　●國都建設局
開札八日午前十時
落札　一萬四千八百十八萬圓　長谷川工務所
一四、八九〇・〇〇　清水組
一五、六八六・五〇　市瀨工務所
一五、九三八・五〇　三田組
一六、三六八・五〇　京城土木
▲伏見臺倶樂部排水工事　●大連工事事務所
豫特　七十圓二十四錢　木村淺吉
▲兒玉町八二社宅内部ペンキ塗替工事
豫特　三百八十七圓　兒島四郎
▲乃木町貸付建物火災跡復舊工事
豫特　八百八十九圓九十錢　板本與一
▲伏見寮松山寮疊修繕
豫特　百二十圓八十四錢　草野喜代次
▲三室町二、一八、二社宅外六十五戶疊修繕
豫特　三百五十四圓　兒島信夫
▲甘井子（第一區）丁種社宅新築工事　●滿鐵地方部
落札　二萬九千二百圓　間瀨組
二九、八五〇・〇〇　鈴木組
三一、四〇〇・〇〇　梅本組
三一、七〇〇・〇〇　畑工務所
▲甘井子（第二區）丙種社宅八戶其他新築工事
落札　七萬二千八百圓　長谷川工務所
七六、二〇〇・〇〇　草場組
七、九四〇・〇〇　[illegible]
▲甘井子（第三區）丁種社宅十六戶新築工事
落札　二萬九千二百圓　間瀨組
二九、三一〇・〇〇　共進組
二九、六五〇・〇〇　名越工務所
▲龍江法院改修工事　●營繕需品局
第一回　三五、八〇〇・〇〇　吉川組
三三、八八〇・〇〇　三田組
四一、二〇〇・〇〇　大二公司
四四、九九〇・〇〇　京城阿川組
四四、六四〇・〇〇　草場組
第二回　三三、二〇〇・〇〇　吉川組
三三、六五〇・〇〇　三田組
三四、四〇〇・〇〇　大二公司
▲右は再入札に付せるも豫算超過に付き落札せず
豫告工事　●營繕需品局
▲奉天國立圖書館文溯閣新設電氣工事
▲奉天省立第一工科高級中學食堂煖房並衛生裝置工事
▲奉天省立第一工科高級中學校食道改築電氣工事
▲以上三件十日十時開札
▲濱江省安達站地畝管現分局廳舍新築工事
開札　四月十三日
▲大連石油專賣所事務室自動車庫新築工事
▲假廳舍二階營繕需品局床リノリウム敷設其他工事
▲國立衛生技術廠附屬建物增築工事
▲哈爾濱賽馬場整備工事
▲以上四件共四月十四日開札
▲營口發電所增築工事　●電業公司
開札期日　四月十五日
▲營口電設所機關基礎工事
開札期日　四月十三日
▲吉林線營業所及倉庫新築工事
開札期日　四月十三日
▲牡丹江變電所增築工事
開札期日　四月十三日
▲南嶺淨月潭專用道路鋪裝工事　●國都建設局
開札期日　四月十三日
▲天安路西側（大同廣場以東）宅地造成工事
開札期日　四月九日

滿洲に於ける煉瓦工業の將來
（二）
新京　高橋國次郎（寄）

二

（A）滿洲に於ける煉瓦の使用は原始的・自然土・未加工煉瓦より黑煉瓦は可成古くより赤煉瓦即ち普通煉瓦と稱するものは淸朝宣統年代にすでに始まつて居り、一般には黑煉瓦を用ひ、赤煉瓦は當時寺院宮殿に使用したものであつて之を嚆矢とも云つたのである

而して滿洲に於ける一般の赤煉瓦即ち普通煉瓦の使用は日露戰爭後この方約三十年であつて、全く搖籃時代とも云ふべく、前途遼遠である、元來支那人の製造してゐた煉瓦は技巧品質共に劣等にして殆んど洋式建築には不適當であつたのである

日露戰爭前一寸の間露國が關東州經營をしてゐる間建築工事が起り玆に煉瓦製作があつたが、一大戰役の爲め激甚なる打擊を受け工場等は殆んど荒廢に歸したのである

（B）日本が戰後關東州の租借をなして以來、年々滿蒙の開拓が行はれ、從つて土木建築の殷盛時代を出現し爲めに煉瓦工場の續々たる設置を見るに至つたものである

露治時代には支那式のものが使用されてゐたが、日治時代に入りては純洋式及び日本式建築に適當する樣に爾來改良が加へられたのである、而して卅年間の歲月が流れて今日滿洲國建設となり玆に煉瓦工業の黃金時代への第一步が踏み出されたのである

（C）元來滿洲は淸朝の祖愛親覺羅か發現し〻所といふので極めて神聖なる地方として、四禁の制まで設けたものである。即ち鑛山採掘、森材伐採、藥草採取、土壤發掘を禁じたものである、こうした時代が二百年も續いたものである

勿論それ以前には土壤發掘もし又採鑛も行つた形跡があるのである。即ち鞍山の如きは遼の太祖時代、今から一千年も昔に手山（首山）に熔鑛爐を設けて、その附近の山から原鑛石を採掘して製鐵を行つたらしいのである。が以上の四禁の制の思想が先入主をなして爾來滿人がこの荒漠たる滿蒙の土壤[illegible]に積極的開發を敢てなさなかつた一原因ともなつてゐるであらう

眞に科學的に滿洲の土壤並に鑛物に調査研究の手を差し延べたのは前記の如く日治時代に入つてからである

（D）滿洲に於ける煉瓦の原料たる粘土は種類極めて多く、純粹狀態にて產出することは稀であつて、從つて化學的成分より定義を下すことも困難のやうである、されど珪酸、礬土、及び水が種々なる割合で化合した複雜な化合體である事は事實である

粘土の性質は粘度を有する故煉瓦等の形を造るに適當であり可塑性を有する故水を加ふれば一定の形を保つやうになり、結合力を有する故、脫粘性物質（砂、珪石粉、燒成粘土）を加へても水を注加し揑練する時は之を抱擁して可塑性を有するのである、又一方耐伸力を有するのである、以上の如き性質を有する故煉瓦製造には最も適當である

而して地質學上第四紀層のものであつて窯業各方面に適材のものだと云はれてゐる

三

（A）滿洲の地底には煉瓦セメントの建築材料資源が大陸的な豐かな眠りを續けてゐるのである

資源工業はその需要さへ盛んであれば先づ無盡藏の供給がなし得られると云つて過言でないだらう

即ち將來滿洲國の成長を約束し得らるゝと想ふ

今日滿洲國の沿線各都市は建築に殆んど日本人製作の赤煉瓦を主として使用してゐるのである、一部支那人製作のも黑煉瓦を使用してゐる向きもある

地方は如何なる狀態かと云ふに先づ

◎興安嶺の山中、西剌木倫河の沿岸等到る所に散在する石器時代の家屋が如何なるものか、思ふに知り得ないけれ共熱河管内に今尚穴居するものがあると云ふから、此の方面は自然土そのものゝ使用に止まるであらう

◎蒙古人は移轉式包（包は蒙古の住舍）固定包、又は包より支那式家屋に移らんとする折衷的包、城廓的家屋に住してゐるので餘り煉瓦を必要としないと云はれてゐる

◎滿人は窩棚（又は窩舖）即ち掘立式小屋、土屋、草房煉瓦家、又西藏式の廟があり一方西洋式の店舖があり、要するに石器時代より近世に到る間の家屋のパノラマと云つた式である。故に多くは黑煉瓦を使用し最近赤煉瓦使用のものも稀に見られるのである

滿鐵が數年前から中央試驗所に於いて研究中であつた高粱からアルコールを生產せんとする試驗はすでに完成した▲試驗工場の成績も極めて優秀なる結果を得たので、之が工業化を計畫し資本金二百萬圓（二分の一拂込み）の會社を設立する事に既に重役會議の決裁を得てゐるが滿洲國内に於る液體燃料の根本方策が確立せざる爲之を實行に移し得ず今日に至つてゐる▲然し當局の燃料方策も近く決定をみる模樣なので滿鐵は代用燃料アルコールの生產販賣に關する當局の保障を得次第、直ちに設立の認可申請を行ひ豫備金より經費を支出して工場設立に着手する筈だとの報道があつた、工場を何處に置くかを未だ知らないが、高粱酒から補助燃料へ、これも現代變化圖のひとつである——「白酒に醉ひ買ひし昔偲をびけり」

商況欄
（四月九日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊	一九片八分七
同　先限	一九片八分七
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	四九留比六分二
米英爲替	四弗九仙二分一
米日爲替	二八弗九一仙
米支爲替	三〇弗〇〇

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向
	賣	買
第一回	一〇三、三七五	一〇三、八七五
第二回		
第三回		

▲倫敦向
	賣	買
第一回	一志二片一六分一	一志二片二分九
第二回		
第三回		

▲紐育向
	賣	買
第一回	二九弗一六分一五	三〇弗〇〇
第二回		
第三回		

▲大連爲替

▲上海向
六、一〇〇
六、三〇〇
六、二五〇
六、三〇〇
出來高　五萬

▲香港向
一〇六、一〇〇
一〇六、二五〇

▲阪神日米爲替
第一回　賣　二八弗一六分一五　買　二九弗一六分一五

▲阪神日英爲替
第一回　賣　一志二片一〇〇　買　一志二片一六分一

●上海標金
●大連金鈔
●大連鈔票銀大洋

各地株式市況

▲東京株式（短期）
東新、鐘新、滿鐵、日產、大新

▲大阪株式（短期）
▲大連株式（短期）
▲奉天株式（短期）

金銀市況

▲市俄古小麥
▲カルカツタ麻袋
▲印棉
▲米棉

各地商品市況

▲大阪棉糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹

各地特產市況

●大連大豆
●同　豆粕
●同　豆油
●同　高粱
●哈爾濱大豆
●同　小麥
●神戶豆粕

新京取引所市況
（四月九日前場）
現物（一石値段）
大豆、高粱、小豆、玉蜀黍
定期（混合百斤値段）

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行武圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二五 營業局專用(3)三二〇〇
發行人 十河 忠 編輯人 松本 男 印刷人 水越 内之介

外蒙を領土視せる ソ蒙議定書の内容

支那の主權は完全に否認

外交部當局の見解

タス通信によつて報道されたソ蒙相互援助議定書全文に關する外交部當局の見解は大體次の如きものである

議定書と稱するものゝ實際上の意味はソ聯がこれによつて外蒙をソ聯領土同樣軍事上に利用し得ることゝしたのみならず現にこれを利用してゐることを告白したものである 即ち外蒙が日滿又は支那（支那も第三國として扱はるべきは文理解釋上明瞭である）より攻撃されたとソ聯が認めた場合（第二條）はもとより攻撃を受ける心配があるとソ聯が認めた場合（第一條）に於てはソ聯は外蒙に於て軍事的其他一切の手段を講ず（第一條及び第二條）べくそのため軍隊を外蒙の領土内に駐屯させる（第三條）といふことを外蒙側をして正式且公然と認めしめたものである

而してソ聯では昨年以來外蒙が日滿側より常に攻撃の脅威を受けてゐるのみならず現實に屢々攻撃されてゐると虚僞の宣傳を國内及び全世界に大々的に放送してゐるのであるからソ聯側では右の第一條及び第二條の場合は既に發生してゐるものとして行動してゐるに相違なく從つてソ聯は現に日滿側に對抗するため外蒙に軍隊を駐屯させてゐるのみならず軍事的その他一切の手段を想ふまゝに講じつつあるものと認めざるを得ない、更に從來形式的に殘つてゐた支那の主權は之に依つて完全に否認されたことになり外蒙はソ聯の軍事的基地として日滿のみならず支那に對しても脅威を與へることとなつた譯である、ソ聯も支那も共に國際聯盟國であり聯盟規約第十條には領土主權の尊重が規定されてあるにも拘らず支那が此問題を聯盟に提起しない事は重大なる疑惑の種となるべきものである、本議定書は十年間有效とあるが外蒙がソ聯領土と何等異る事なき狀態に置かれて了つた以上議定書の有效期間といふ事は凡そ意味のない事である

支那の抗議に對する ソ聯の反駁要旨

【モスクワ九日發國通】ソ聯政府のソ蒙相互援助條約締結に關する支那政府の抗議に對する反駁回答要旨左の如し

ソヴィエト政府は四月七日附の中國政府通牒に包含せられたるソ蒙議定書に對する解釋に同意する事を得ず從つて右中國政府の抗議は根據あるものと認める事が出來ない、ソ蒙相互援助議定書調印當時ソヴィエト政府は一九二四年北京に於て締結せられた中ソ協定を阻害することなく、又右協定が依然有效なるを前提としソヴィエト政府は右中ソ條約はソ聯邦に關する限りに於ては現在並に將來に亘つて效力を有するものなる旨茲に再確言するものである

中華民國の自治的部分との間の協定締結に關する形式の權利に就ては一九二四年九月廿日ソヴィエト政府と東三省政府との間に協定の締結を見然も中國政府より何等抗議を受けなかつた事實を指摘するを以て充分と考へる同時にソ蒙協定は第三國の利益に反する意圖を有せざること、而してソ聯邦又は蒙古人民共和國が侵略の犧牲となり、その領土を擁護するの餘儀なきに至つた場合に於てのみ效力を發生するの點は注目されなければならない

反駁回答に對する 外交部當局評

ソ聯政府の南京政府に對する反駁回答に對して滿洲國外交部當局は左の如き批評を下してゐる

ソ聯政府が一九二四年の北京協定が依然有效にして現在並に將來に亘つて效力を有する旨如何に再確言したとて同協定の第四條及び第五條に定められた支那の外蒙に於ける主權なるものは今回のソ蒙議定書に依つて全く否認せられたものであることは議論の餘地を殘さない 從つて此點に關するソ聯の辯解は寧ろ滑稽である、次に一九二四年の奉露協定を先例として擧げてゐるが奉露協定の規定した事項と今回のソ蒙協定の規定した事項はその性質が全く異りソ蒙協定は先般外交部當局談で發表した通り外蒙をソ聯に併合したと同樣のものであるから此點に關するソ聯の辯解は故意に見當をはずして顧みて他を言ふ類のものである、更にソ聯は此の協定が第三國の利益に反せず且つソ聯又は外蒙が侵略の犧牲となるに至つた場合始めて發動するかの如く辯解してゐるが東は日滿、南は内蒙古、新疆省と境を接する廣大なる外蒙の全領域をソ聯が軍事上の基地としてソ聯領土同樣に振舞ふことが第三國即ち日滿支三國にとり一大脅威たる事は言ふ迄もなく日滿支三國の赤化防止事業は今後益々多難となるであらう、且つソ聯は外蒙が日滿側侵略の被害者であるとはソ聯が極力宣傳してゐる所であるから此の協定は既に發動して居り現にソ聯が外蒙に於て思ふまゝに行動して居るものと認めざるを得ないので此點に關するソ聯の辯解も單なる誤魔化しに過ぎない

ソ蒙協定に併行して ソ支密約も存在

日本側嚴然たる態度に出ん

【上海九日發國通】ソ聯外蒙相互援助協定と併行的にソ支兩國間に密約の存在してゐる事はソ支兩國幾多不可解なる態度によつて略々推測されてゐたところである、即ちソ蒙協定が三月十二日タス通信によつて發表されたに拘らず支那政府は一片の抗議すら發せざるのみならず支那新聞通信に對し本協定に關する報道を禁止して臭いものには蓋をきめ込み日本側からの警告に遭ふや眞相調査中なりと他人ごとの如く應對をなし日本側の追及急となつて始めて形式的に抗議するといつた調子でこの奇々怪々なる態度に對しては重大なる關心と監視が拂はれてゐたが此程に至りソ支兩國間にソ蒙相互援助協定の交換條件的密約の存在する確證と共に支那政府の抗議が事前にソ聯大使ボゴモロフ大使の同意を得充分なる押合ひの下に於てされた形式的のもので全く日本に對し事實を胡麻化さんとしたものであつて今次のソ聯の反駁回答も全く八百長なる事實が暴露された、支那政府の對日不信事實明瞭となつた以上日本政府は對支三原則中の重要項目たる赤化共同防衛を無視されたものとして改めて嚴重なる態度を餘儀なくさるべく成行頗る注目を要する

大達新總務廳長 けふ特任式擧行

次長後任は鹽原、松木兩氏有力

國務院總務廳長の後任は九日の臨時參議府會議に於て大達總務次長の陞任を可決直に御裁可を經たので十日左の通り特任せられることゝなつた因みに後任總務廳次長の人選は未だ決定を見てゐないが、鹽原人事、松木秘書兩處長何れかの昇格が有力視されてゐる

特任國務院總務廳長 國務院總務廳次長 大達茂雄

國務院總務廳長 大達茂雄

親補日滿經濟共同委員會滿洲帝國委員

日滿經濟共同委員會滿洲帝國委員隨員並幹事 大達茂雄

右隨員並に幹事を解く

なほ大達新廳長特任式は本日午前十時三十分宮内府において執り行はれる

關東局總長に 武部氏内定

關東局總長後任は司政部長武部六藏氏に内定してゐるが、司政部長後任は別にこれを置かず武部氏が兼任すること部内定してゐる

支那を中心に 隔意なき意見交換

カドガン大使歡迎午餐會

【東京國通】英國駐支大使カドガン氏は英國政府の外務次官補に榮轉の爲歸國の途中九日東京を訪問したので、外務省では重光次官主催で次官官舍に歡迎午餐會を兼ね支那を中心とする日英兩國の隔意なき意見の交換會を開催した主人側より重光次官以下外務幹部、主賓カドガン大使、駐日英國大使クライヴ氏、陪賓としては日英協會副會長林權助男、松平式部長官、吉田元駐伊大使、有吉前駐支大使等出席和氣靄々たる裡に午餐を共にし終つてから歸嚢中の有田外相も加はり重光次官、有吉大使が主となりカドガン、クライヴ兩大使との間に支那に對する日英の協調に就き相當突込んだ意見を交へた、殊に廣田内閣の自主積極外交方針の骨子の說明並に世界經濟領域に於ける日英通商衝突調整緩和方策に就ては特に日英双方とも熱心に意見を交換したが近來有意義の會合であつた

イタリー數學者 兩陛下に拜謁仰付けらる

【東京國通】世界的數學者として令名あるイタリーアカデミシヤン、フランチエスコ・セベリ氏は日伊交換教授の使命を帶びて日本に滯在數ケ月日伊學術親善に盡して愈よ十日歸國する事となつたので、九日午前十時半參内、天皇、皇后兩陛下に謁見仰せつけられた

支那の抗議に ソ聯反對回答發表

―ソ蒙援助條約問題―

【モスクワ八日發國通】ソ聯政府は八日夜タス通信社を通じてソ蒙相互援助條約締結に對し南京政府から抗議のあつた事實を發表すると同時に右抗議に對するソ聯政府の反駁回答を發表した

ボ大使も暗躍

【南京九日發國通】駐支ソ聯大使ボゴモロフ氏は先週ソ蒙相互援助協定に關して國民政府外交部の招電に應じて入京以來同問題に關し外交部と著々後策に就き折衝、八日上海に向ふ豫定を變更して引續き國民政府各要人間を奔走中であるが、目下のところ上海歸還の時日は無期延期の狀態となつてゐる、而して之が最大原因は國民政府のソ聯に對する抗議提出によるものと見られてゐるが外交部方面の消息によれば曾てボゴモロフ大使と外交部との會見の際ボ大使はソ蒙相互援助協定成立を仄かしその内容の詳細に就ては關知しないと洩らしたと言はれてゐる點からして相當期日を經た今日國民政府が抗議を提出、それと同時に協定内容が發表された點から見て幾多の疑惑がかけられてゐる

米支銀問題會談好評

【モントリオール八日發國通】米支財政家間に行はれた銀問題に關する會談は公開銀市場に著しく好感を持たれモントリオール定期銀塊市場は市況著しく活躍を呈し相場も一ポイント乃至十六ポイント方昂騰して一月以來三ケ月振りに各限り四十五仙臺乘せを演じて取引も十萬九千オンスの多量に上り近來に見ざる盛況である

日滿兩國間に 工業所有權 相互保護條約締結

五月卅一日調印式を擧行

滿洲國は工業所有權に關して門戶開放、四海平等主義を採用するが特に日本との間には兩國不可分關係より兩國工業所有權を双互に保護する爲日滿兩國間に工業所有權相互保護條約を締結する事になり、條約文は既に日本外務省條約局、滿洲國外交部通商司に於て作成を終り來る五月卅一日午前十時外交部に於て植田全權大使と張外交部大臣との間に最初の歷史的條約調印式が擧行される事になつた、尚條約文は四項より成りその要旨は左の通りである

一、日本人の發明は滿洲國政府で保護し、滿洲國人の發明は日本政府で之を保護す

一、日本人の出願は滿洲國政府で認め、滿洲國人の出願は日本政府で之を認める

一、日滿兩國民の工業所有權は相互に外國人として區別せず自國人と同樣之を保護す

一、日滿兩國政府に於て工業所有權の不正競爭を防止す

北滿農地開發中心に 軍、滿鐵の協議

【大連國通】滿鐵では九日來連せる關東軍稻垣顧問、鈴木主計正を迎へて大村副總裁以下山崎、宇佐美兩理事、市川經理、中西總務部長の外杉鐵路總局次長等出席の上北滿の産業開發、新線の經濟化を目的とする農業移民問題に就き懇談した、即ち滿鐵が昨年十一月提案せる南滿熱河方面の農民の北滿移住、内鮮人農民の北滿移植を助成する資本金八千萬圓の北滿農地開發會社設立案を中心として討議、各方面に認識されつゝある北滿の開發、新線の經濟化は早急且つ具體的に農民の移植に俟つ外なしとする方針の具體化に就き協議を重ねた

參謀總長宮殿下より 重大訓示を賜る

軍司令官師團長會議第二日

【東京國通】軍司令官、師團長會議第二日は九日午前九時半より參謀本部大會議室で開催、閑院參謀總長宮殿下より統帥權上から今回の不祥事件に對し軍紀の徹底的肅正、指揮命令權の恪守、軍隊の精神的團結に就て重大訓示を賜り次で西尾參謀次長より總長宮殿下の訓示に補足して詳細なる講演があり終つて渡邊第二部長は最近に於るソ聯邦の極東政策、支那の一般情勢並に國際情勢に就き約一時間に亘り詳細に說明を行つて正午休憩、午餐を共にしたる後午後一時西尾參謀次長以下參謀本部首腦部との懇談會を開き統帥部として今回の不祥事件に對する善後處置を說明し今後の方針に就き各軍司令官師團長との間に重要意見の交換が行はれ同二時半過ぎ散會した

貴族院からの政務官 四名だけ決定

【東京國通】政府は貴族院より五名の政務官を詮衡すべく各派との間に交渉を進めて居るが左記四名は八日決定をみた

內務政務次官 子爵 裏松友光

內務參與官 男爵 肝付兼英

陸軍政務次官 子爵 立見豐丸

拓務政務次官 男爵 稻田昌植

總局人事異動

【奉天國通】山領鐵路總局監察の北寧鐵路局最高顧問就任に伴ふ總局の人事異動は九日左の如く發表された

ハルビン鐵路局工務處長 技師 郡新一郎

鐵路總局監察を命ず

鐵道建設局技師 鈴木長明

ハルビン鐵路局工務處長兼水運局工程處長事務取扱を命ず

奉天鐵路局運輸處長 參事 關弘

奉天鐵路局總務處長事務取扱兼務を命ず

奉天鐵路局總務處長心得 事務員 川上一

鐵道部勤務を命ず

鐵路總局總務處附業課兼産業係主任 參事 大岩銀象

鐵路總局總務處附業課長を命ず

兼務を免ず

外務省警部補 警部に昇進

外務省では左の十五氏を三月卅一日附で警部に任命、本日右の旨大使館より發表された

（磐石）佐藤警部補（黑河）淺見同（北安鎭）大升同（間島）山崎同（ハルビン）上原同（同）小口同（同）南坪同（同）山本同（新京）國島同（同）牛尾同（同）松本同（間島）高橋同（同）山下同（同）伊藤同（頭道溝）佐藤同（昂々溪）山崎同

協和會訪日視察團渡日

地方會員の中堅分子を以て組織された協和會第三回訪日視察團一行三十七名は桜川中央事務局員等に引率され九日午後四時新京驛發朝鮮經由一路日本へ向つたが一行は十日京城着、十二日下關上陸、門司博多、別府、神戸、大阪、京都、奈良、宇治、山田、名古屋等各地を視察の上、二十二日東京着、先進日本の文化を具さに視察した後廿七日離京、敦賀、清津經由來月四日歸京の豫定である

青木錦ケ丘高女校長挨拶に來社

新任新京錦ケ丘高等女學校長青木昌氏は庶務主任深見光司氏の案内で九日午後挨拶のため本社を來訪した

日滿名流夫人の長岡夫人送別會

新京の社會事業に盡した長岡前國務院總務廳長夫人の訣別午餐會は九日正午ヤマトホテルに開催され日滿名流夫人多數出席、つきぬ名殘りを惜んだ

人事往來

▲張充凱氏（宮內府掌禮處長）九日午前內地へ
▲吉本達利氏（龍江省事務官）同チチハルへ
▲山岡中將 同遼陽より
▲長谷川孝三郎氏（會社員）同大連へ
▲渡邊貞輔氏（旅順工大囑託）同奉天へ
▲鈴木甚助氏（官吏）同錦州へ
▲牧野克巳氏（滿洲國官吏）同ハルビンへ
▲松岡勝喜氏（會社員）同大連へ
▲稻村峰一氏（材木商）同奉天へ
▲笹野勝美氏（會社員）同
▲成田晴紀氏（會社員）同奉天へ
▲工藤重次郎氏（土木請負業）同來京中央ホテル
▲霊田忠雄氏（大連輸組理事）同
▲田邊義晴氏（同）同
▲高島義彦氏（鑛業）同

航空往來

▲薄田精一氏（會社員）九日午前奉天へ
▲境大岩氏（官吏）同
▲田中大尉 同ハルビンから
▲長野義雄氏（步兵大佐）同
▲龜井陸軍三等主計 同
▲小澤陸軍二等主計 同
▲北川大尉 同ハルビンへ

社説

低金利の時代來る

其意義と滿洲經濟への好望

一

低金利の時代は來た。それは、高橋財政を修正し、新しき段階に立つ日本經濟の各部門に深大なる影響を與へるところの金利の革命である。日本の金融界は、昭和六年の金本位停止を區劃として大革命を經たのであつた。それによつて、多年に亘つての苦惱であつた國際收支の逆潮を訂正し、外資輸入國から一轉して資本返濟國乃至輸出國に變ずるに至つたものだ。日露戰爭以後、世界大戰前までに、日本は巨額の外國資本を輸入した。そして世界戰爭後も、戰爭中に蓄積した在內・在外正貨が盡きて來るとともに、又もや外國資本の輸入を開始したのである。これらの外國資本は專ら、戰爭の遂行或ひは産業開發に必要な資金として這入つて來たのだつた。

二

しかし、實際的には、戰爭は日露戰爭だけで、その後は世界戰爭にも參加はしたが、それには外國資本の輸入で戰費を支辨せねばならぬやうな必要はなかつた。また産業開發資金も、世界戰爭後に於いてはこれを外國資本に仰がねばならぬといふ必要はなかつたのである。にも拘らず外國資本が引續き輸入されたのは當時の金融乃至經濟政策の大なる過誤として今日批判濟となつてゐる。その如き政策のために、貿易は年々巨額の入超を繼續し、正貨は絶えず流出した。金融は必然的に慢性硬塞を呈し、金利は高かつたのである。外國資本の輸入は實にこの金融の不圓滑、金利の高上から起つたのだつた。

三

さきに高橋藏相によつて行はれた金本位再停止と、その後に於ける爲替低落放任とは上述の如き逆潮を訂正せんがためのものであつた。これによつて日本經濟は急速に好轉した。國內の物價は相當高く保たれつゝ、海外から見れば日本商品は異常な低落を示した。貿易は入超からつひに昨年の輸出超過に轉じたのである。もはや外國資本輸入の必要は毫も存せず、昭和七年以來、日本はいかなる意味に於いても一文の外國資本をも入れてゐないのである。のみならず、滿洲國には莫大な投資をなしてゐる。イギリス、アメリカに於いて國債の利廻りは現在二分五厘見當である。今や資本輸出國となつた日本がひとり高利を保つべき理由は存しない。低金利は、かかる見地よりする時、必至であつたのである。而して又、日本を繞る世界經濟の、殊には滿洲並びに中華民國の情勢の變化をも考慮せねばならぬ。一九三六年の非常時性は、ここに最も明白に、濃厚に盛り上つてゐる。滿洲經濟建設の好望もまた必然的歸結である

彩票益金の行方に不平の聲起る

大部分は國庫收入に入り

社會事業費には極めて僅少

『彩票の發行は其の性質上、濫用するときは民衆の射倖心を助長し、其の弊害尠からざるも其の監理運用を得れば其の効用捨て難き長所を有す、殊に政府之が發行を專行し益金を以て災害救濟費若は社會事業費に充當し又は災害救濟基金を造成するが如きは彩票の特質の利用上至妙と云ふべく……云々』の主旨の下に政府は特に大同元年九月彩票關係法令を施行し現在までに三百萬からの福民獎劵を發行し、莫大な收入を得てゐるが之が行方に就て俄然重大問題が提起されんとしてゐる財政部彩票既發行數は二十四回三百萬圓、このうち代賣人手數料七分、得彩總額、及印刷其他の諸雜費を控除しても約九十萬圓からの純利益を得てゐる筈であるが、彩票關係法令の主旨により社會事業費として使用され又使用されんとするものは康德元年度に福民診療所六ヶ所の設置及承德國立醫院の增築費七萬圓、同二年度に前記診療所十ヶ所の設置費八萬圓、合計十五萬圓なほ同三年度豫算十萬六千二百圓の診療所十二ヶ所設置費及福民施療費八千七百圓計十一萬四千九百圓か計上せられてゐる

以上の如く社會事業費としては純收入の僅か幾割かに過ぎず殘餘は國庫一般收入に編入されてゐると聞く、斯くしては彩票發行の主旨に反するのみか國民に對して賭博行爲を獎勵するものとして之が前途には一脈の暗影があたへられてゐる

講會取締規則改正要旨

＝關東局警務部發表＝

既報、關東局では講會取締規則の全面的大改正を行つたが改正の要旨は左の如くである

一、講會の意義を明確ならしめ且其の內容を擴張し同時に之が適用に關し一定の除外規定を設け本令の適用範圍を明定せり即ち現行規則に在りても講會の意義を規定せるものありと雖極めて抽象的にして之が適用上往々疑義を生ずる向ありしを以て今回其の內容又は方法等より的確に規定し且之と混淆の虞ある無盡業との關係を判然ならしむると共に其の適用範圍に就て特に口數又は據出金品額若は人的特殊性に基き一定の除外規定を新設し之が利用者の便宜を圖り同時に運用上に於ける不便を除去し以て取締との調和を期したり更に從來は「給付するもの」に關し從來は「金錢」のみに限られ居たる處今回「金錢」の外新たに「有價物」を以てする場合も本令の適用を受けしむることとせり

二、世話人の數並に世話人たるの要件に付一定の條件規定を設け同時に之に連帶責任を負はしめたり即ち親主、管理人、理事等其の名稱の如何に拘らず之等の役員は凡て之を世話人と稱し而も一講會に付き必ず三名以上の世話人を置くこととし之等世話人は本規則適用に關しては凡て連帶責任を負はしめたり、尚右世話人は必ず講員となるを要する外原則として他の講會の世話人となることを禁止し特に支障なしと認むる場合に限り警察署長の許可を受けしめ以て講會の營業化を防止すると共に其の組織の確實性を保持せしむることに努めたり

三、講會組織者に對し講會規約の制定を命じ且其の規定すべき事項を詳細に指定し講會の組織許可申請と同時に之を提出せしめ又之が變更に際しても一定數の講員の同意を得たる上警察署長の許可を受けしむることとし以て講會の基礎を確實ならしむると共に講員の受くべき利益の保護を期したり

四、原則として總掛金品額を二千圓以下、總口數を百口以內講會の存續期間を五年限と各々制限規定を設け（公益上必要ありと認むる場合は例外あり）以て講會組織の確實性を保持することに努めたり

五、花籤の總額を總掛金額の百分の二以內に制限し射倖心の誘致を防ぎ又定額費用を總掛金額の百分の三（第一番會に限り百分の五以內）以內に限定し講金の濫費を防ぎ以て講會組織の目的を維持せしむる事とせり

六、現行規則に於ては講會組織の許可を受けたる者は許可の日より三十日以內に講會を組織せざるときは單に許可取消又は組織變更命令の處分條件に過ぎざりし處改正規則に於ては許可の日より六十日以內に開講せざるときは當然に許可の效力を失ふことに改めたり

七、講會存續期間滿了前の解散は許可を要することとし以て利益を保護し債務の辨濟等に遺憾なきを期することとせり

八、講員の異動、開講の休止講會の滿了其の他收支計算報告書等の屆出規定を設け之が取締監督の適正を期したり

警察總監等日本視察に

十三日新京發約一月の旅

治外法權の撤廢を控へ滿洲國地方官吏に日本を認識せしむることは邦人の對滿進出を促進し日滿不可分關係を確立するために緊要とされてゐるが民政部では日本の地方行政並に警察行政を視察せしむるため約一ヶ月にわたり首都警察總監金榮桂氏以下二警察廳長十三縣警務局長、二警察署長十八縣長等五十數名の日本行政視察團を派遣することゝなつた、一行は金首都警察總監引率の下に來る十三日午後四時新京發大連より海路神戸に上陸、東京を振り出しに名古屋、山田、奈良、京都、大阪廣島、門司、別府、博多、八幡、下關各地における産業、教育、社會、警察各施設を視察し五月十三日歸京の豫定である、視察團一行の氏名は左の如くである

▲首都警察總監金榮桂（引率官）▲黑河警察廳長齊恩名▲瀋陽警察廳長藏鋭▲奉天省遼陽縣警務局長于景仁▲同海龍縣警務局長王明丞▲濱江省東寧縣警務局長王承▲同衞山縣警務局長鄭國恩▲同雙城縣警務局長榮延▲吉林省樺デン縣警務局長孫殿玉▲同雙陽縣警務局長章忠毅▲龍江省大賚縣警務局長江水恩▲錦州省彰武縣警務局長陳景啓▲安東省鳳城縣警務局長楊壽戈▲安東省岫巖縣警務局長岳如山▲熱河省承德縣警務局長馮秉元▲三江省樺川縣警務局長王少軒▲哈爾濱警察廳事務官高丞現▲同南崗警察署長景有昌▲吉林警察廳北山警察署長馬連登

日本行政視察團員名簿

代表　民政部事務官　成友耆

▲吉林省　永吉縣縣長關中柏、扶餘縣總務科長張豐運、舒蘭縣內務局長隋葆常、▲龍江省　克東縣縣長陳承定、泰康縣縣長張亭馨、富裕縣縣長周光、▲黑河省　奇克縣縣長謝峻山、▲三江省　方正縣縣長景陽春、依蘭縣總務科長鑄新、羅北縣縣長成友直、▲濱江省　慶城縣縣長陳萬鐙、東興縣縣長王世修、虎林縣縣長金國楨、綏稜縣縣長王祝齡、▲間島省　延吉縣內務局長何紹銑、▲安東省　通化縣縣長劉天成、莊河縣縣長劉鳴渙、▲奉天省　柳河縣縣長陳玉銘、西豐縣縣長黃式敘、西安縣內務局長楊世英、清原縣內務局長那瑞、▲錦州省　臺安縣縣長于長卿、綏中縣縣長濮繼橋、▲熱河省　建平縣縣長王國生、▲興安南省　總務科長通遼縣縣長董雲卿

新京小包檢査所　分館に昇格

新京小包檢査所は開所以來二年餘になるが新京に保税倉庫が新設されると共に哈爾濱税關分關に昇格することゝなつた、この間に於る業績は目覺しい發展を遂げ

大同二年九月（開所）　個數　一、一三九　税額　六二五、七二

康德元年九月　個數　一六八七　同税額　四、八八〇、九六

二年九月　個數　五、〇四一　税額　二七、三五一、五二　內滿局　六、六三七、五二　日局　一九、三七九、〇九

（日本郵便局が四月一日より開設され附屬地內發着小包の宛地通關を開始したゝめ急增）

前記の如く滿關小包の數に於ても税額に於ても激增してゐるが最近三ヶ月の取扱高は左の如くである

一月　個數　八四三八　税額　一一、六三四、九二

二月　個數　七二二〇　税額　一五、二八〇、三

三月　個數　一三二七　税額　二七、九〇二、五三

東京預金利協約加盟の貯銀利下げ

【東京國通】市中銀行の預金利下げに伴ひ東京預金利率協定加盟貯蓄銀行でも預金協定利率を引下げ政府の低金利政策に順應する事となつたが普通銀行の利下げを俟ち來る十日より實施する事となり新利率は定期預金、据置貯金各四厘下げの三分三厘、普通貯金一厘下げの六厘となり大阪、京都名古屋、横濱の各預金協定貯蓄銀行も同一歩調をもつて利下げを斷行する事となつたが定期積立金の利下げに關しては再協議の上決定の筈で之は大體來月一日より實施となる模樣である

三月中各國別商標登錄出願數

三月中に於ける商標登錄出願數は左の如くである

▲滿洲一五▲日本一五〇▲英國一八▲米國一六▲獨逸一六▲伊太利二▲瑞西一▲丁抹一▲無國籍一

〃〃〃〃シーズン來り　日本訪問賑ふ

【奉天國通】旅行シーズンの到來で內地より視察團は連日ひきもきらず滿鐵、鐵路局、ビューロー等關係各所では春といふのに汗だくの態であるが一方更に日本にあこがれて日本見學に出掛ける滿人旅行團もこれに負けず劣らずどしどし繰出して行く、即ち現在までに計畫された視察團の主なるものは滿鐵、鐵路總局、ビューロー主催の日本觀光團二百名を始め協和會主催の訪日旅行團四十名、富錦日鮮滿實業視察團廿四名、森永製品滿洲販賣會社招待の日本觀光團廿名濱江省日本商工視察團廿五名此外にも團體募集が計畫されて居り茲にも日滿親善は旅行からといふ朗かな情景を展開してゐる

安東築堤工事　負擔金問題で行惱み

【安東國通】安東縣城の築堤工事は既に國道局の手によつて設計その他萬般の準備を終り何時にても工事開始の運びとなつてゐるが本工事に要する地元負擔金六十萬圓（本年度分二十萬圓）の捻出難で目下縣公署に於て受益者の負擔とするか增税によるかに就き考究中であるが決定せず從つて工事開始は行惱みの態となつた

復縣警務局の編成替へ

【瓦房店支局發】瓦房店國境警察隊解隊による同隊の復縣警察に移管された事は既報の通りであるが共に復縣警務局の編成變更を來し新に緝察股を設け且つ各員を左の通り配置し警察行政事務と密輸取締實務とを兼行せしむることゝなつた、その配置を觀れば（緝察股警佐）村上幸助、四谷鶴吉、金子正、鈴木七平、關根四郎（瓦房店署通譯）小川臨慈（特務）大島四郎、鈴木高夫（科員）太田武夫、鹽野金藏、山田政元市、山城寔、關平四郎、石津鈴木熊吉、丹野保衞、大金有錫夫、宮崎太次郎、安和田保二郎、荒井元吉、吉重寛之助、黑澤十太郎、田家永三十二、畑野太良（田家分駐所）種田久一、金舜允荒井眞吉、出口貞次、土屋松雄、小林眞一、中村省三渡部勝治、小島十二三、酒寄芳雄（吳家屯分駐所）鈴木關治、高橋茂、太田仲次郎、（胡家屯分駐所）小澤一郎、鈴木春二（元台子分駐所）青島俊郎、高橋卓次（復州灣分駐所）井上寅雄、內田虎雄（宋家屯分駐所）大川千民、楓木熊雄、中村五兵衞、渡部庫之助、楊原安三田山雅光、鈴木角藏、張仁深（蓮花山署）湯達路（松樹署）海際榮之助、石田鋼太郎等である

丁香盧漫筆（八八）

◎『隨園食單』を讀む（二）

又『潔淨須知』の條下にはコックは徹底的に清潔でなくてはならぬと說き煙草の灰、額上の汗、竈上の蠅蟻、鍋上の煤烟など微塵でも菜の中に這入つてはいかぬ、若し這入つたか最後『雖絶好烹庖、如西子蒙不潔、人皆掩鼻而過之矣』と評してる、處が余等の平生は西施どころか天下の醜婦が不潔を蒙つたやうなものを平氣で食つてる、鹹味の何パーセントかはボーイ額上の汗と心得て然るべし。

×

又濃厚と油ち、清鮮と淡薄とは甚だデリケートであるから混同せぬやうにと注意し、世間には無暗に肥ち（油こい）のを注文する奴があるがこんなのはラードでも嘗めたがよからう（若徒貪肥ち。不如專食豬油矣）淡薄々々と云ふ奴には水でも飲ませい（若徒貪淡薄。則不如飲水矣）は少々手酷しい。『本分須知』では滿人コックと漢人コックとを同時に使用する場合各其の本領（本分）に依りて特長を發揮さすがよいと言ひ『須知』の章は此れで終り第二章『戒』に入る。

×

『戒耳餐』が振つてる珍味の評判でお客を嚇かそうとするのはよくない癖だ、料理が大切である豆腐でも味を得れば遠く燕窩に勝る、雞豬（豚）魚鴨は豪傑の士也各本味有りて自から一家を成す、海參燕窩は庸陋の人也全く性情無くして人の籬下に寄る云云は素晴しい見識だ、或時某太守の御馳走になつたが恐ろしい大碗（大碗如かめ—とあるがまさか其程でもあるまい）に燕窩四兩の水だきだ大勢の客は感心して讃めたが我輩（隨園）は笑つて曰く此れは燕窩を喫するのでは無く燕窩を（胃腑に流し込む）……『若徒誇體面。不如……明珠百粒。則價値……如喫不得何』と皮肉

×

次は『戒目食』で食……云ふが矢鱈に品數を……ばかりが能で無い其……であつて口食では無……澤山あるものでは無……ックが心力を盡して……一日大概四五味位の……らう、又多くコック……からとてそう呼吸が……でもない。或時商家……に呼ばれたが驚く勿……が四十餘種にも上つ……主人は大分得意のやうに見受けたが余（隨園）は箸を付ける眞似丈で御免を蒙り歸宅後粥を炊いて喰べた（我散席還家。仍煮粥充飢）とある、如何にも肯かれる、余等も時に日食の宴會に出くはす、而して隨園も曾て經驗しなかつたらうと思はるゝ所の主客の永々しい御挨拶が續く、全くやり切れぬ早く歸つて茶漬を喫ひ度いなどと思ふ。隨園を九泉の下に起して此んな宴會に出席さしたら、さてどんな辛辣な皮肉を浴せるであらうか聞き度いものである。

×

『戒停頓』の條下では時經つて煮返しになつては成らぬと戒めてる、然し世には亂暴な馬鹿者が居つてそんなものでも平氣で平げる奴がある、これは『眞所謂得哀家梨。仍復烝食者矣』（哀家梨は佛前などに長く供へたもの）とやつ付けてる。嘗て廣東に遊び楊蘭坡の處で善魚料理を御馳走に成つたが（善魚は鰻に類似し俗に川蛇と稱するもの）頗るうまかつたので其料理法を尋ねたら『不過現殺現烹現熟現喫不停頓而已』との答であつたと書いてある。此の現殺、現烹、現熟、現喫は現在日本でやつてる鰻の蒲燒法其儘である、偶然の一致か夫れとも廣東か本家か、食通考證家の指教を待つ。

商況欄（四月九日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　二二三五　後寄　二二三七

●大連金鈔票　寄付　二二三〔illegible〕

四月十三日渡　四月二十八日渡

●大連鈔票銀大洋　出來高　不申來

爲替相場

▲上海爲替　第一回賣　一〇三、三七五　買　一〇三、八七五

▲日本向　▲倫敦向　第一回賣　一志二片　一二分一　買　一六分九

▲紐育向　第一回賣　二九弗一六分三　買　三〇弗〇〇

▲大連爲替　▲上海向　一〇六、四〇　六、三五　六、四五　出來高三萬五千

▲國台向　一〇六、四五

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	一六、五〇	一六、六〇
豆新	二〇、一〇	二〇、一〇
鐵鈔新	三七、三五	三八、四〇
東鐵新	六〇、四〇	—
滿鐵新	五六、一〇	—
二產新	六五、二五	六六、〇〇
日新	一四七、八〇	一四九、一〇

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取新	一六、〇〇	一六、一〇
東新	三六、四〇	二八、一〇
大新	三四、〇〇	三四、〇〇
日產新	六四、〇〇	六五、九〇
鐘新	一四七、五〇	一四九、〇〇
五品新	一六、三〇	—
豆新	二〇、〇〇	—
滿鐵新	六〇、二〇	六〇、九〇
二甲	一九、〇〇	五六、二〇
電拓	一〇、〇〇	—
同亞	一〇、〇〇	—
東興	一〇、三〇	一〇、四〇
滿毛	三四、八〇	二一、〇〇
滿先	一七、三〇	—
優發	一六、七〇	—
日發	六二、七〇	六二、〇〇

各地商品市況

▲橫濱生糸　先限　前場引　後場寄　當限　七四六、〇〇　七五四、〇〇

▲大連麻袋　現物　三八錢　四月限

各地特產市況

●大連大豆　寄付　引

限月	寄付	引
袋入 四月限	六、五五	六、五五
五月限	六、五五	六、五六
六月限	六、五二	六、五六
七月限	—	—
八月限	—	—

●同　豆粕

新京取引所市況（四月九日後場）

現物（一石值段）　寄　引　出來高

大豆　—　—

高粱　—　—

小豆　—　—

玉蜀黍　—　—

定期（混合百斤值段）

大豆　四月限　五、七二　五、七二　二六車

●同　豆油

限月	寄	引
現物	一八七五	一九〇
四月限	一八七五	一八七五
五月限	一八九	一八九五
六月限	一九〇〇	一九〇〇
七月限	—	—
八月限	—	—
九月限	—	—

●同　高粱

限月	寄	引
現物	—	—
四月限	—	—
五月限	一九、七〇	一九、七一
六月限	—	—
七月限	—	—
八月限	—	—

●哈爾濱　大豆

限月	寄	引
現物	—	—
四月限	三、九〇	三、九一
五月限	三、九一	三、九一
六月限	三、九一	三、九七
七月限	—	—
八月限	—	—

●同　小麥

限月	寄	引
四月限	四、四〇〇	—
五月限	四、四〇〇	—
六月限	—	—

●同　〔illegible〕

限月	寄	引
四月限	一、三〇五	—
五月限	四、八〇〇	—
六月限	四、八九〇	—

●神戸　豆粕

限月	寄	引
四月限	四、一五	四、一五
五月限	四、一五	四、一五
六月限	四、一〇	四、一〇
七月限	四、一二	四、一二
八月限	四、一二	四、一二
三月限	—	—

手形交換高（九日）

金票三三〔illegible〕　國幣二〔illegible〕

鮮魚小賣相場

品名　百匁

鯛、鰆、黑鯛、チヌ、中小鯛、アマ鯛、カマス、ブリ、ヒラメ、サハラ、メバル、赤貝、アサリ、カレイ、ヒラメ、ボラ、コチ、コノシロ、キス、イワシ、サヨリ、マカツ、ホーボー、カナ頭、ハマグリ、チクワ、タコ、イセエビ、車エビ、カニ、アナゴ、イイダコ、イカ、水イカ、コマエビ、ナマコ、タイラギ、甲イカ、アワビ、クロマグロ、貝柱、カキ、シジミ、マグロ切身、ニベ、ブリ、カチキリ、サハラ、タチ、カマボコ

新京中間區公示第一號

范家屯區公示第一號

春期定期種痘施行に關し左記の通范家屯警察署長より告示ありたるに付ては該當者は種痘及檢痘を受けられたし

記

一、未だ種痘を受けさる者但生後九十日未滿の者を除く

二、第一期、第二期種痘該當者にして種痘を受けたるも不善感なりし者及第一期、第二期種痘該當者にして種痘を受けさりし者

三、前各號の外種痘後滿五年を經過せる者は成るへく種痘するを可とす

種痘及檢痘の月日並地域時間及場所

種痘月日	檢痘月日	地域	時間	場所
四月一五日	四月二二日	范家屯	自午前一〇時　至午後三時	警察署
四月一六日	四月二三日	大屯　孟家屯	自午前一一時　至午後三時	派出所
四月一七日	四月二四日	陶家屯	自　至　同	

備考　雨天順延

昭和十一年四月八日

南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　武田胤雄

新京區公示第二號

新京西公園內ニ於テ夏期ノ間露店營業ノ目的ヲ以テ土地使用ヲ希望スルモノハ左記ニヨリ競爭入札ヲナシ使用者ヲ決定スヘキニ付四月十一日午后四時迄ニ當所地方係ニ申出ラレタシ

記

一、入札日時　昭和十一年四月十三日午前十時

一、開札日時　同　午前十一時

一、入開札ノ場所　新京地方事務所經理係

右入札希望者ハ當日保證金貳百圓也持參ノコト

其ノ他入札ニ關スル入札心得並土地使用規程ハ當所地方係ニ於テ承知セラレ度シ

昭和十一年四月八日

南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　武田胤雄

俳優人氣投票當選發表

五等　宮原巳毛男殿　宮內貞義〃　岩永敬二〃　竹內信雄〃　豐田進吉〃　小林朴郎〃　迫田晴義〃　金澤敬五郎〃　精林一馬〃　吹畠〃　坪倉和夫〃　石黑忠純〃　河西和子〃　兒玉政一〃　鹿內康隆〃　山下〃　清國安明〃　森川文丸〃　林福永〃　井手澄子〃

六等　前田ハル〃　川村義本〃　大井早智子〃　福代榮〃　川田トメ〃　岩崎榮子〃　大棟米次〃　黑川惣五郎〃　井上正信〃　大隆洋行〃　北川ミツ子〃　原靜子〃　岩瀬市佐代〃　山崎貞義〃　廣田ツヤ〃　コング〃　周替遷〃　川端喜一〃　江口久榮〃　樋口正男〃　高杉秀夫〃　宮原貞子〃　菅原フシ子〃　河西文男〃　宮田貞夫〃　四枝ツチエ〃　久保田關太郎〃　內田靜雄〃

七等　石橋ミエ子〃　鈴木藤子〃　梅原米人〃　佐藤金吉〃　澁谷キク〃　入船クラブ〃　西生利春〃　湯淺美代子〃　太口薫〃　馬場海夫〃　岩本芳子〃　近藤元殿〃

八等　山下道子〃　村上〃　矢野明〃　野中千代〃　秋山秀夫〃　山下一〃　廣田福枝〃　正本喜美代〃　宇野文子〃　村司禎造〃　志田元旦〃　大津喜江〃　金田俊一〃　原崇重〃　三浦つた江〃　鹿藤富太郎〃　大隆洋行〃　長野謙一〃　古野〃　村羽柳子〃　齊藤智次郎〃　佐藤實〃　末永院〃　伊藤宜子〃　草野百合子〃　原田雪枝〃　田中貞彦〃　大林正〃　三崎照夫〃　遠藤鈴緒〃　山口晃〃　金子永德〃　篠原政雄〃　黑川とし子〃　園香〃　山路アイ子〃　藤田恒好〃　黑田清次郎〃　家崎竹子〃　木村隆雄〃　大山初枝〃　中村〃　庄垣內律子〃　燒山時春〃　細山實次〃　金子鶴吉〃　熊本すみ〃　高根一旦〃　宮木茂義〃　新田望人〃　馬華岩〃　蔡漢鄉〃　花田浩〃　荒谷正輝〃　高濱みね〃　大谷寛〃　芹澤トラ〃　土岐滿洲子〃　堀川澄子〃　山本正雄〃　吉田幸正〃　不田米好〃　桑野勝太郎〃

右當選のお方は賞品引換券を御持參の上當館宣傳部俳優人氣投票係までお出で下さい賞品引換期間は發表日より五日間以內ですからお早くお引換下さい高田絵に投票されて當選なさらぬ方抽選漏れには劇引券を差上げますからお出で下さい以下八等の方で本朝刊に掲載されてゐない方は明日の夕刊に發表致します

帝都キネマ

特許發明法及び意匠法公布に際して

實業部總務司長 高橋康順

實業部總務司長高橋康順氏は九日午後六時から新京放送局から「特許發明法及意匠法の公布に際して」と題し放送したが、その要旨は左の通りである

◇

今日私共が文明と呼んでゐるものは科學に依つて作り出された文明であります。即ち多くの優れた人々が科學上の原理原則を實地に應用して我々人類の生活に役立つやうな物又は機械等に關して發明を爲し夫れに依つて我々の生活を豐富にしたのであります。而して斯くの如く發明を爲しこれに依つて我々の生存及發展を計ると言ふことは實に人類の特質であるのであります。人類の文化史は發明の繼續に外ならないのでありまして太古より發明は斷えず爲されて來てゐるのであります。例へば木をきるに石を以てし食物を煮るに火を以てしたるが如きこれ皆太古に於ける偉大なる發明でありまして之等偉大なる發明に依つて人類の文化は發展して來てゐるのであります。これを近世の歷史に徵すれば尙明かであるのでありまして彼の十八世紀末に於ける「ゼームス・ワット」の蒸氣機關の發明の如きは單に原動機の發明を促したばかりでなく瓦斯機關、ガソリン機關等の內燃機關の大發明への刺戟となり延いては「デイゼル」博士に依る「デイゼル」機關の發明となり運輸業その他一般產業の開發促進に偉大なる貢獻を爲してゐるのであります。

◇

その他「ライト」兄弟のガソリン機關を利用しての飛行機の發明「ジエンニー」の紡績機に關する發明「マルコニー」の無線電信の發明等發明が產業の開發及振興に偉大なる寄與を爲してゐる例は枚擧に遑がないのであります。この故に一面より見ますれば文明は實に發明の一大集成なりといふも過言ではないのであります。乍而以上の如き發明は優れた天分と不撓不屈の努力に依るに非ざれば到底達成し得ざる處でありまして古より發明家にして或は貧困と戰ひ或は世人の嘲罵を受くる等種々樣々なる辛苦に堪え而も人類の生活に一大變革を齎らすが如き大發明を爲した者も尠くないのであります。そこで若し之等人類に一大恩惠を與ふるが如き發明を爲したる者に對し之れを保護すべき何等の方法をも講ぜないとしたならばどうなるでありませうか。人類の福祉に貢獻しながらも何等の報酬を受くることを得ず徒に他人の利用する所となり己は空しく地下に埋れて仕舞はねばならないこととなります。斯くては發明に對し優れた天分を持つてをる者も恐らく發明に精進する勵みを失ひその結果は自己の天分を用ひて發明を爲すことをも敢へて爲さないこととなると思はれます。故に若し發明考案を奬勵し以て人類の福祉を增進せんとするならば宜しく發明家を保護するの途を講ぜねばならないのであります。即ち有益なる發明を爲した者には特許權を與へて一定の年限之を保護し其發明家のみに發明實施の獨占權を附與し以て其の努力に對する報酬と名譽とを與へることとせねばならないのであります。各國の古い歷史を繙いて見ましても當時の爲政者は發明家を保護した事蹟は各所に之を散見することが出來るのでありまして、今日各國が採用して居る特許制度の如きも實に此の目的の爲に設けられたものでありまして今日文明國家に於て特許法を有せざるものなき有樣となつて居るのも蓋し當然の事と言ふべきでありませう。

◇

然るに我が滿洲國に於きましては建國日尙淺き爲此の特許制度は全然設けられてゐなかつたのでありますが、最近產業政策の見地より各方面から此の制度の確立を要望するの聲が漸次高くなつて來たのであります。當局に於きましては夙にその必要を認めて居りまして既に二年前より特許及意匠に關する法令の立案審議に當り愼重に研究を重ねました結果今日漸くその成案を得ましたので玆に特許發明法及意匠法としてその公布を見ることとなつた次第であります。此の新しく制定せられました特許發明法及意匠法は其の關係法令を併せますと勅令十五件、部令七件の大部より成るものでありまして大發明は之を特許發明法に於て保護し小發明は之れを意匠法に於て保護することとして居ります。又兩法は我國建國の大精神に則りまして全く門戶開放四海平等主義を採り內外人を問はず等しくその發明考案に對して保護を與へることとし以て我國產業振興への一大方策たらしめんことを期して居るのであります。乍併玆に一言致したいことは或は滿洲國は產業極めて未發達の狀態に在る國でありますが故に特許制度を設くるが如きは事尙早に屬すと爲す人があるかも知れないことであります。これを日本國の歷史に徵しますに日本國に於ける特許制度は實に維新匆々の際たる明治四年に公布せられた專賣略規則に始まり明治二十一年の特許條例に依り漸く基礎が堅められたのでありまして當時は日本國は極めて產業未發達の狀態でありしたに拘らず此の特許條例の制定に依り發明考案は大いに指導獎勵せられその爲に有益なる發明續出し今日に於ては米獨に次ぐ世界第三位の發明國になつたのであります。

◇

またかの獨逸國も西曆一八七〇年代獨逸帝國成るに及びまして產業の不振に焦慮した鐵血宰相ビスマルクは斯の制度を採り以て獨逸產業振興の基礎を築いたのであります。是に由つて之れを觀ますれば特許制度は決して產業勃興せる國のみに必要なものではないことが明らかでありまして寧ろ產業未發達の國に於てこそ發明考案の指導原理として欠くべからざるものであります。この意味に置きましても今回吾國に特許發明法及意匠法が公布せられ近くその實施を見んとしてゐることは誠に邦家の爲慶賀に堪えない處であります。

尙最後に附言致したきことは兩法の制定は治外法權撤廢の問題に付ても重要なる關係を有するものであります。即ち日本帝國に於て許與せらるる所の特許權及其の他の工業所有權は昭和四年勅令第三二五號の規定に依りまして其の效力は治外法權を行使することを得る滿洲國內の日本帝國臣民に及ぶのでありますが若し治外法權が撤廢せられますと前記勅令の效力は滿洲國內の日本帝國臣民に對して及ばないこととなりますから現に日本帝國に於て許與せられて居る特許權其の他の權利は其の範圍に於きましても縮少せられる結果となり日本帝國臣民の既得權が阻害せられることになりまするばかりでなく滿洲國內に於ては日本人相互の間に於て自由に他人の特許發明を實施することが出來ることとなり從來滿洲國に對し特許權其の他の權利に基く製品の輸出を爲しつゝある日本當業者や帝國內に於て特許權に基いて企業を爲しつゝある者は之が爲に不測の損害を蒙ることゝなる虞があるのであります。故に治外法權が撤廢せられる以前に本邦に於て特許發明法其の他の法規を制定しまして日本帝國に於ける權利として其の儘滿洲國の權利として認める樣な措置を採ることが日滿不可分の關係より見まして最も肝要なことゝなるのであります而して兩法は此趣旨をも參酌して制定せられてゐるのであります。

◇

以上は特許發明法及意匠法施行に際して私の卑見の一端を申し述べたものであります。吾々は兩法公布の意義とその使命を深く認識し以てこの運用に於て誤りなきことを期したいと思ひます。さすれば我國產業の開發文化の發展も期して待つべきものがあることを信じて疑はない次第であります。御情聽を謝します。

東滿

假地籍整備に先立ち 土地所有者の權利確保策

課稅の衡平期し間島省で決定

【延吉國通】康德三年度より五ヶ年間繼續事業として行はれる滿洲國の假地籍の整備に先立ち間島省公署では次の四項に分つて土地所有者の權利を確保すると共に課稅の衡平を期する事となつた

一、地捐賦課臺帳の整備

從來各縣では田賦底冊と稱する土地臺帳と畔稅臺帳を兼ねたものを使用してゐるのであるが、頗に不備なものであつて徵稅令書の發行も不可能であつて民衆はその歸趨に迷ふやうな場合が多かつたので、權利關係を明確にする爲め今回規程を制定し各縣をして地捐附課合帳を備附せしめると同時に別に規程せる土地執照名儀書換事項と併行的に實施せしめ課稅の衡平を期せんとするものである

二、土地執照名儀の書換

元來土地執照は土地所有者が所持すべきものであるが事實に於ては、相續、賣買、交換等に當つて書換を行はざる爲め往々にして名儀人と實際所有者が異つてゐるものがあるので、一應之が一致を計る事となつた

三、土地執照發給暫行規程

從來各縣に於る土地執照の書換及び分筆は一定の規程明文なく各縣ともその取扱ひが區々であつた爲め民衆の不便が尠くなかつたので之を新規程により統一することゝなつた、尙從來執照を遺失せる場合再交附を申請するには紛失廣告を一ヶ月間新聞紙に廣告する事が條件とされてゐたが、右は窮乏せる農民の負擔に堪へざる所となし廣告期間を三分の一の十日間に短縮してゐる

四、匪禍による亡失土地執照發給規程

事變以來匪禍により土地執照の亡失せるものが相當數に上つてゐるが、今日に於てもこれが再發給の手續をせざるものが案外多數に上つてゐるのでこれが爲め特に右の規程を定め新聞廣告を免除すると共に手續を簡單容易ならしめ民衆の利便にそはんとしたものである

吉林發展研究會 第一回座談會開催

【吉林支局發】當地日滿商工協會に於て豫て計劃中であつた吉林發展策研究會は愈よ各方面の權威者を網羅して急速なる實現を圖ることゝなり來る十日午後一時より民會々議室に於て第一回座談會を開催することゝなつた、同會は曾ても報道せし通り各方面のエキスパートを集め產業都市乃至遊覽都市としての當市の發展策を講究し之れを關係機關を通じて可及的に實行に移さしめんとするもので如何なる提案が齎れるかゞ大に注目されてゐる

吉林鐵路局にラグビー部結成

【吉林支局發】近代スポーツの華なりと謳はれ逐年其の旺盛さを加へつゝあるラグビーは、昨年來隨處にラグビー軍の結成を促してゐるが、吉林鐵路局に於ても、スポーツシーズンを迎へるとゝもにラグビー部結成の議が勃然と起り來り、近く之れが實現を計るべく、同局山中決算股長、渡邊統計股長、渡邊文書科長等の斡旋指導の下に準備を進めてゐるが近く、局員並びに一般へ呼びかけて大々的部員の募集に着手する筈

吉林電報局 居留民會跡に移轉

【吉林支局發】當地大馬路筋の電報局は現在の舍屋が餘りに狹隘であつて局側及利用者側に執つて不便此の上も無く豫てより之れが移轉擴張を要望されてゐたが適當の候補地無く、今日に及んだが、先頃居留民會の新營造舍屋への移轉後、その跡への移轉が適當であるとの說有力となり、果然當局者に於ても之が實現を計る事に決定し該建物の所有者である外務省當局は右建物使用の認可方を目下稟請中なるが、認可のあり次第直ちに一部改造に着工する豫定で電々本社へ對しても、之が經費豫算額一千圓を申請中である

發疹チブス豫防に宣傳ビラ配布

【吉林支局發】學術研究の尊い犧牲となつた故宮地國立醫院長を首め、同病院內のみで三名の殉職者を出さしめた怖るべき發疹チブスは、今後その魔手を如何なる方面にまで延ばすか量りがたくなつた爲めに、警察廳衞生科では之れが豫防に大童となり、最近左の如き宣傳ビラ二萬枚を作成し一般市民へ配布して警告を與へ、病菌の撲滅を期する事になつた

發疹チブスは蚤、虱等より媒介傳染するもので感染後約四日乃至三日間の潛伏期を經たる後、全身の倦怠、頭痛、手足の疼痛、食慾不振等を惹起し更に進展して高熱續き(三九度―四十度)氣管支炎、咽喉乾燥等を併發し全身に大小の淡赤色の發疹をなすもので恢復期間は約三週間と見られて居り現在のところ病源體不明の爲め特効藥なく豫防法に賴るより外無いものである、合併病症としては中耳炎、肺炎、肋膜、腸炎、心臟痲痺等で死亡率は百分の二十前後である、豫防法としては不潔なる場所、多人數集合する場所等には近寄らない事で、若し感染した場合は安靜にして臥床せしめ氷囊で冷し、解熱劑強心劑、清凉飲料等を與へる事である

王子製紙會社滿洲に進出

【京城支局發】王子製紙會社は最近川西系との事業合辦に成功し、自己の滿洲に於けるパルプ會社創設につき過般來同社首腦部間で種々對策考究の結果愈よ五月上旬、同會社創立總會を滿洲の現地で開催することに決定したが新會社の名稱はH滿パルプ製造株式會社(滿洲國法人)とし資本金は一千萬圓(國幣)二分ノ一拂込とする模樣である

ローカルの充實期し 吉林にスタヂオ新設

五月上旬頃より放送を開始

【吉林支局發】電々會社新京本社に於ては一般ラヂオ聽取者の要望に依り、ローカルカラー豐かな放送資料に就いて過般來種々研究中のところ、昨夏全滿及び日本內地に放送絕大なる成果を納め得た吉林名物、松花江の鵜飼實況放送に鑑み今回之れが第一の試みとして滿洲唯一の遊覽都市として自他共に許してゐる水鄉吉林に放送スタヂオを新設することゝなり、目下諸準備を進めてゐる、尙確聞するところに依れば總經費約二千圓を投じて取敢へず城內電々局內の一室を改造これに當て五月上旬頃より放送を開始する模樣であるがこれが實現の曉は躍進吉林への觀光客誘致には勿論吉林市發展上其他各方面に亘つて多大の貢獻を爲すものとして一日も早き實現が叫ばれてゐる、而して電々當局に於ては從來の通俗的放送プロを出來得る限り除去し、ユートピア吉林のローカルを多分に盛つた新鮮味タツプリなプログラムを編成の上遊覽都市の宣傳に努むるべく早くも各方面と折衝を重ねてゐる

行腦みの競馬場問題 設立計畫成る

―當局者間の諒解成る―

【吉林支局發】さきに當地民間日滿有志者間に於て計畫された當地競馬場問題は其の後軍政部當局の根本方針に抵觸するところから遂に行惱みの狀態に陷つてゐたが、何れにしても當地に於ける競馬場の設立は沈滯せる市に活を注入するものとして各方面より實現を要望されてゐるに鑑み最近關係各要路に於て極秘裡に新たなる設立計畫樹立種々研究中のところ今回漸やく成案を得た模樣であるが今回の計畫は全く滿洲國賽馬法に則したものでその建前上營利の性質は極めて稀薄なものであるだけに急速なる實現は困難視されてゐるも各要路の當局者が大局的見地に立つて相互的諒解の下に準備を進めてゐる、之れが實現は間違ひ無きものと見られてゐる、因にこの吉林賽馬俱樂部は滿洲國賽馬法により民法第四十六條所定の法人とする筈で設立に當つては日本人側は日本居留民會に於て又滿洲國側は吉林市公署に於て夫れ〴〵斡旋の勞をとる筈

朝鮮

各地の農林組合は 農林局に移讓? 有力意見擡頭す!

【京城支局發】朝鮮に於ける產業組合は總督府農林局が總督府殖產局から分離しない以前は殖產局商工課で監督してゐたが、農林局が殖產局から分離した今日では農村と不可分の產業組合を殖產局商工課の所管として置くのは指導監督する方でも不便が多いので、產業組合の中小工業を主とするものを除く大部分の農村組合は農林局に移すのが本當であるとの意見が有力となつて來た、殖產局では產業組合の農林局移讓と同時に工業組合令を公布產業組合の中で工業組合に編入する性質のものはこれに引直すのが至當であるとの意見が誘發されて來た、然して朝鮮金融組合聯合會は金融部で、金融組合事業部で產業組合を指導產業組合は農會の斡旋事業をも全部繼承するものと察せられる

全鮮に於る昨年度家屋建築數

【京城支局發】建築上から見た全鮮主要都市の消長―總督府警務局調査による昨年中の家屋建築數を見ると何といつても京城は隨一で總數二千八百七十二棟に上つてゐるが、之を內譯すると煉瓦、鐵筋コンクリート建一六八、二階以上の建築三六三、平家木造二、二七一で一般住宅が最も多數を占めてゐる、次いで建築數の多いのは平壤で千八百五十九棟となつてをり新義州は九八八棟で海州の六百九十七棟、清津の六百五十八棟これに迫つて何れも潑剌たる都市の發展振を示し、釜山の六百戶は大したものでないが、咸北會寧の五百三十六戶は括目に値する

北支棉作に 朝鮮から專門家特派

【京城支局發】北支の棉作に關しては多年の經驗を誇る朝鮮から技術者を特派して積極的援助を吝まぬ方針で總督府では曩に矢島農林局長東上の際、陸軍省某參謀より要請あつたに對し先づ本年六月拓務省から北支經濟觀察團を派遣の際總督府農事試驗場北鮮支場長堀山寅太技師を一行に參加させ具さに北支における棉作栽培狀況を視察せしめその結果如何によつて愈よ專門技術者を現地に派遣指導に當らせる方針である

南滿

旅順市敦賀町に 市營住宅建設

婦人病院跡に全戶數廿戶を

【大連支社發】都市と住宅難は何處も同じものと見え旅順に於ても豫て住宅拂底に喘いでゐたが今回旅順市では同市敦賀町元婦人病院跡を買收し市營住宅を建設することゝなり簡易保險局より融資をうけ近く着工の豫定であるが建設される住宅は甲號六、六、八一疊、乙號は八、六、二疊、丙號は八、六疊、丁號は六、四半、二疊の四種とし全戶數二〇の明朗なる住宅街出現のことになつてゐる

家庭

新入學の子供に芽生える恐怖心！
御兩親達に注意

小學校一年生への入學は終りました。幼い彼等も新しい生活を始める譯です。兒童は普通の意味の感じ易い子供であつても、教師から受ける壓迫とか、義務、又は急に殖えた澤山の友人達から受ける壓迫感から、急に寢小便をする樣になつたり、うなされたりする樣になりますから何かしなければならぬなどといふ苦になるものを思はせぬやうに、學校は面白い處と思はせることが大切です。

◇……◇

所が、一般の親達は、一寸した事でも直ぐ「先生に云ひ付けますよ」と學校を威嚇の手段に使つてゐます。これは一番いけないことでそれでなくても子供達は「さうすると怒られるよ」と怒られる事を心配しつつ遊んでゐるのです。即ち恐怖が動機になつて行動が起つてゐるのです。これは日本に於ける小學教育の最も悪い特性で、然も今日迄凡ての人から見逃されてゐた教育上重大な問題です。

◇……◇

その證據には日本の子供は悪いことをするとすぐ逃げ出し學校などでも悪い事をした子供がすぐ出て來ません。之れはあやまり度くても恐怖心があまりに强くて出て來られなくなるのですですから一年生時代から出來るだけ恐怖心を起さないやうに、恐怖が凡ての行動の動機になるなどといふ恥ずべき事のないやうに導かねばなりません。

春先きに多くなる腦貧血の手當法
老若男女、誰にでも起ります
刺戟を避けませう！

春先にはいろ／＼な腦の病氣が起り易いものですが、腦貧血も其の一つとして子供にも青年にも老人にも起るものです。この腦貧血は急に起ると眩暈を覺えて顔面が蒼白となり。手足がひどく冷えて、手やわきの下などに冷汗を流し耳が遠くなつたり耳鳴りを感じたりひとみが大きくなつて（呼吸が）深く大きくなるか、或ひは淺く頻繁になつて、脈は細く早くなるのでありますが、甚だしい場合はよく手足の痙攣を起したり吐いたりすることがあります。この腦貧血は大抵の場合十中八九まではしばらくして意識を回復するものでありますが、稀には重症で腦機能が回復することなく死亡することもあります。この腦貧血はよくある病氣で突然いろ／＼な場合に起るのですから其應急手當を心得ておくことが必要です。いふまでもなくこの（病氣は）腦に貧血を來して居るのでありますから、腦に血が澤山行く樣にすればよいわけです。從つて倒れて顔があをざめ、手足が冷えて脈が細い樣な場合には、靜かに暖い場所に運び、安靜に寢かせ頭を低くして腦に血が澤山流れる樣にします。そして手足は摩擦するかできれば湯たんぽの樣なもので温めたり、または何か暖かいものを體につけて暖める樣にし葡萄酒や酒の樣なものを少し飮ませて心臟の働きを强くし、また顔に冷水を注ぎかけて（意識の）回復をはかり、若しできればアンモニアか强い香水をかがせて、其の强い鼻粘膜の刺戟に依つて、失神から回復させる樣につとめなければなりません。要するに腦貧血は、子供にも青年にも老人にも年齡をかまはずに起るものですが、老人の倒れた場合は、腦貧血よりも腦溢血を考へねばなりません。體が肥えて背が低くて顔が赤い樣な子供や大人が倒れた場合には腦充血を考へねばなりません。腦貧血の（豫防と）しては神經質の人、心臟の弱い人などは、平素ヘモゾールの樣な鐵分を含んだ補血劑と服用して人込みの中へ入る場合とか感動する樣な話を聞く場合には、よく注意を拂つて、なるべく貧血を起す誘因を避ける樣に心掛けねばなりません。もし已むを得ない場合には、少しでも氣分が悪いとか目まひがする樣な場合には、急いで其の場を逃れて靜かに横になり頭を低くするかまたは頭になにか（暖かい）ものをあて、腦に貧血を來たさしめない樣にすることが肝心です。

お料理獻立

野菜スープ

【材料】（五人前）バター大匙三杯、ニンジン、コップ三分の一、蕪コップ三分の一、セロリ（西洋三葉）コップ三分の一、玉葱半分馬鈴薯コップ一杯半、お湯コップ四杯、バター大匙一杯、鹽大匙半分、パセリ大匙半分、胡椒茶匙八分の一

【拵へ方】野菜は皆小さく切つて、馬鈴薯だけを別にして置いて、外の野菜を狐色になる迄油でいため、馬鈴薯を加へて少し煮之れにお湯を加へ、蓋をして一時間煮ます。コップ四杯位の水加減ですから、水が減つたときは適當に水を入れます。一番最後にバター、パセリと調味料の胡椒鹽を加へ、味加減を見て火から下ろし温かいうちに器に盛つて供します。

眉で變るお顔の美
全體の調和を考へて眉の形を作りなさい

顔のお化粧の中でも、最も簡單に最も自由に變へることが出來て、しかも、その變化の如何によつて■

顔全體

の感じを古くも、新しくすることが出來るのは眉です。近代のお化粧の中でも、眉の引き方や、手入法は一番重きをなされてゐます、昔は動きのない細い眼がよいとされてゐましたが、今日の美人の標準から云ふと圓らな澄んだ眼の方がよいとされてゐます。從つて眉もこれに釣り合つた型にしなければなりません。つまり

細い眉

といふものは見た目がやさしくて、やはらかいと同時に、より眼を大きく美しくみせるものです。よく細い眼の上に、太い毛虫のやうな眉があるのは、眉の印象ばかりがマザ／＼としていやなものです。けれども細い眉がよいからといつて、誰でも無暗に細い眉にそりこんでしまふのもおかしなものです、總て何でも考へて、顔など殊にその形によつて眉の

調和を

引き方も變へてゆかなければなりません。この眉の形をきめる最もよい方法は、御自分の寫眞を出してみて、この眉を鉛筆でいろ／＼な形に變へてみることです。そして一番自分の顔立ちを引き立てる形の研究をすることも面白いと思ひます。また自分と同じ系統の顔立ちの人の

寫眞の

眉を、いろ／＼變へてみるのもよい研究になります。

春先の皮膚病と手當

春先になるといろ／＼の皮膚病が急に殖える例へばいんきん、水虫子供にはタムシ、しらくも等が目立つて多くなる何れも痒ゆく痛く氣持悪るいものである、之等の皮膚病良藥はテーム水にとどめをさすそれはテーム水の有つ殺菌消毒收斂の各作用が優秀で合理的で何人が用ひても安心して推奬できるからである、發賣元は東京共田村町東京藥院であるが全國到る處の藥店で販賣されてゐる

今日の話題

△十日京都の平野神社と滋賀縣の御上神社讃岐の金刀比羅宮等でさくら祭がございます。

△和泉式部が有名な「日記」を書き初めましたのが長保五年の卯月十日で、なき背の君をしのびつつ筆を起したのでありました。

△西郷隆盛が藤田東湖と小石川の水戸藩邸で會見しましたのは嘉永七年の同じ十日のことでした。

△小學校の教科書が始めて國定となりましたのは明治三十六年四月十日のことであります。

△今日を誕生日とする人に救世軍を組織したウイリアム・ブース（西暦一八二九年）があります。

新刊

▽キング（五月號）

◇二・二六事件が、この所世間の問題の中心になるのは已むを得ないが、キングでは五月號に事件の美談、感激の實話を蒐めて、グッと空氣を明朗にしながら、眞相を報道することに成功してゐる。ぐ美談佳話いろ／＼ある中に、湯河原の牧野伯遭難眞相は當時、どうしたわけか餘り新聞にも傳へられなかつた事實として特に讀應へがある。◇味のある隨筆で、この雜誌中の一偉彩であつた永田秀次郎氏がこの號には拓務大臣として「大ナポレオンの教訓」を寄せてゐる。◇石屋の倅から總理大臣廣田首相の「出世結婚物語」は時節柄興味深い。◇特に「大阪人氣者座談會」―特に大阪といはなくても。今日の藝界から、大阪の藝を拔いたら果して何が殘る。これは日本人氣者座談會と云つてもよい位のものである。然し特に大阪を中心に大阪の好みを强調してゐるところはローカルな趣味がある。◇この雜誌の呼物―讀切小說傑作選一三篇が加はつて、豪華小說陣を一層强化してゐる。

▽幼年俱樂部（五月號）

◇四月小學校の入學、進級シーズンと時を同うして、幼年俱樂部五月號には、有形無形、さまざまの活氣横溢ぶりを示してゐる。◇五月號についてゐる附錄の一つ「お母様新聞」の全頁を占めてゐる東京納繪小學校長相島龜三郎氏の子供を良くする急所實例は新入學の子供をもつ家庭には是非讀ませたいところだ。一體この雜誌は尋常三四年程度までは、誰にも讀めることを主眼としてゐるさうだが、一年生にも決して苦痛にならない工夫が施してあるので、むしろ一年の始めから、玩具のつもりで持たせるのが一番悧巧だ。現に都會地では一年生の讀者が相當に多い。◇「秀吉出世繪物語」其他動物知識や漫畫本の附錄に至るまで周到な注意が行届いてゐるのは教育を主とする兒童雜誌として、よい心掛けである。

ラヂオ　けふの番組（M・T・C・Y 新京放送局）十日（金曜日）

朝

六、〇〇　建國體操

六、二〇　ラヂオ體操（東京）

六、四〇　初等滿洲語講座（大連）講師　秩父固太郎

七、〇〇　初等日本語講座（奉天）講師　近藤壽助

七、二〇　氣象通報（大連）

引續き　朝の音樂（レコード）（大連）　管絃樂　ニ長調　モーツアルト作曲　ニユーヨーク交響管絃樂團　指揮　トスカニーニ

八、三〇　經濟市況（東京）

九、〇〇　早晨演奏

九、二〇　料理獻立

九、四〇　經濟市況（大連）

一〇、〇〇　家庭講座（哈爾濱）　眼病に就ての心得　醫學博士　有賀穰作

一〇、二五　家庭メモ

一〇、三五　經濟市況（大連）

一〇、四〇　經濟市況（東京）

一〇、五九　時報（東京）

一一、〇〇　ニュース（東京・引續き新京）

晝

〇、〇一　經濟市況（大連・引續き新京）

〇、二〇　晝の演藝（レコード）　尺八　一、夕顔　二、[illegible]枕　三、子守唄　吉田晴風

〇、四〇　建國體操

一、〇〇　白天演藝（哈爾濱）　大鼓　三堂會審　唱　筱金子　三絃　于增厚　四胡　白玉芳

一、二〇　ニュース（滿語）

一、三〇　成人講座（滿語）　現代青年（八）成功之道路　滿洲帝國教育會新京分會長　自强學校長　楊世楨

一、五〇　下午演奏

二、〇〇　經濟市況（大連）　引續き　日用品値段（滿語）

二、五〇　經濟市況（東京）

三、〇〇　ニュース（東京・引續き新京）

三、三〇　經濟市況（大連・引續き新京）

四、三〇　ニュース（鮮語）　引續き　演藝（鮮語）

四、五〇　ニュース（英語）

五、〇〇　子供の時間（奉天）　お話　滿洲の植物と農業の作り方　奉天平安小學校　野末晴三郎　關屋五十二

五、二〇　コドモの新聞（東京）

五、二五　氣象通報　番組豫告

夜

六、〇〇　ニュース（東京）

六、二〇　今晩の番組

六、二五　官廳公示　政府公報（滿語）

六、三〇　國民の時間（滿語）　關於特許發明法及意匠法之公示　實業部商標局長　胡靖

七、〇〇　ピアノ獨奏（東京）　ウキルヘルム・ケンプ
一、奏鳴曲　變ホ長調作品三十一　第三　ベートーヴエン作曲　第一樂章　アレグロ　第二樂章　スケルツオ　第三樂章　メヌエット　第四樂章　プレスト・コン・フオーコ
二、牧歌變奏曲　モーツアルト作曲
三、即興曲　變ロ長調　シユーベルト作曲

七、三五　東明節（東京）　吉柳　東明　吟舟

七、五〇　郷土舞踊と俚謠（東京）
一、網干音頭と海老屋甚九郎　兵庫縣揖保郡網干町　有志　（イ）網干音頭（盆をどり）（ロ）海老屋甚九郎
二、三宅島の唄　東京府伊豆三宅島神着村有志　（イ）祝儀唄　きまりぶし　（ロ）生島新五郎の唄　江島ぶし　（ハ）見送り唄　姉ケ濁ぶし　（ニ）弦踊　おまんかかみ　（ホ）島ぶし
三、沼隈踊唄　廣島縣沼隈郡山角村有志
四、對馬の唄　長崎縣下縣郡久田村有志　（イ）祝儀唄　マダラぶし　（ロ）勞働の唄　辛氣ぶし　（ハ）四季ぶしの內春　（ニ）祝言　（ホ）地つきぶし
五、延年の能・小町　岩手縣西磐井郡平泉村毛越寺有志
六、やがえぶし

八、三〇　時報・ニュース（東京）

引續き　ニュース

八、四五　ニュース・經濟市況　氣象通報・番組豫告（滿語）

九、〇〇　舊劇（哈爾濱）　寄寃報　唱　董鑑明　于佐臣　傳益湘　杜春榮　外六名　場面

一〇、〇〇　北滿の時間　哈爾濱

學藝

滿洲學藝時評（四）

依然滿洲の創作は貧困である

大内隆雄

『新天地』四月號には吉野治夫氏の小說「姉妹のこと」と宮原欣氏の「第二世の偉大」とがある。

吉野治夫氏の「姉妹のこと」には（其一）と傍題がつけてある。組んで十三頁もあるので相當の力作かと期待して讀んだ。

これは取つて置きの話だ。私が靴磨きをしてゐた頃の事である。私が靴磨きをしてゐたといふ事は殆ど誰も知つてゐない。

さういふ書き出しである。そして

私は、若い時代の感激性に驅られて、極めて人道主義的な動機から勞働組合の仕事を手傳つたりしてゐたのである。私は屢々その組合のために、自分の小遣の大半を投げ出してしまつたり組合の圖書部を充實せしめるために、書籍を急きこんで寄附したりした。

そんな事が書いてある。誰だつて、「おやこの作品は（滿洲で書かれたものとしては）一寸變つてるぢやないか」と感ずるだらうではないか？

だが、私は此の作品を讀んで損をしたやうな氣がした。精力を無駄に勞費したやうな氣がした。一寸風變りなやうな女が現れて來るだけで、この十三頁もある第一話にはこれといふ內容も無いのである。それは一つの時代風俗の描寫ではあらう。が、それだけならば、私はどうも批評の仕様がない。表現に、變てこな現代人風な（文法に合はぬやうな）文句が取り入れてあるだけが目立つだけだつた。

×　×

次いで私は宮原欣氏の「第二世の偉大」を讀んだ。これは宮原氏獨特のテーマで、アメリカで排斥されて來た老人が滿洲にゐる次の世代の連中から「舊い資本家的氣質」を排撃される話である。が、その話が、ノッケから大掛りである

歡喜と不安とに、狂躁じみてゐる、むつおばさんが、此の夕方に三度目の訪れを强行して、岡案に惱んでゐる田谷を錬ませた。紅んだ秋の木の葉のやうに、哀愁を浮べ、それでゐて凛乎として犯しがたい信念の堅さを見せてゐた彼女だつたが、この一ケ月ほどの姿はどうだ。性の再開放に遇つて魅つたさまを　あらはに見せつけ、春の乙女のやうに、跳躍する甘いたるひ嬌態を憎惡しきつてゐる彼の眼の前にまき散らしてゐる……

相當考へ込んで讀まなければ判らない位の代物である。が、私には作者の底意が見え透いてゐて、どうも高踏の評讀は出來ない。要するに、これも精力ロー費ものである。

×　×

このやうな日本人滿洲文學の貧困を前にしては、滿洲學術の進步しつゝある有様の方がずつと刺戟的であり、讀むことを要求する力を持つてゐる。

たとへば滿洲評論社が出した『再分割の危機に立つ支那』を見よ。それには、支那を繞つて列强資本主義のわれらの眼前に於ける動向の展開を如實に科學のメスで解剖し出してゐるではないか。內容の詳細については又項を改めて書くことが出來やう

更に、滿洲國協和會發行の『工作月報』の三月號も私は最大の關心をもつて讀み得たものだ。特に先般開かれたその事務長會議に於ける熱心な討論の記錄は、最も注目さるべきものであつた。

忙しい間にも私は現に滿洲で書かれ發表されつゝある文學の成果を注目し、そのすぐれたものを見出さうとつねに眼をひからせてゐるつもりだが、最近の感想としては「文學は貧困で、社會科學が先行してゐる」と言はざるを得ぬ　（四・六）

春の落書（一）

細川明

1、春

「春はあけぼの、やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりり、紫だちたる雲の、ほそたなびきたる」「枕草子」のうちの人口に膾炙された文章だが、これを讀むごとに、作者淸少納言の生れた平安朝時代の平和を想ひ、このやうな事をのんびりと書いて居る彼女自身の境遇にある種の嫉妬を感ずる、恐らく、吾々廿世紀の生存競走の激しい人生に生れた人間にはこの作者の心境を想像しても充分、推知することが出來ないであらうと思ふ。絢爛たる平安朝に於いて、絃歌の響をきゝ書齋の中で、机に向ひ、硯の墨を筆にしたしながら、春はあけぼの……と書いて居る作者を想像して見ると、先にも書いたやうにある種の嫉妬を感ずるのはぼくだけではないであらう。

よくある種の人間はある作家の藝術をよく解つてたかのやうに話す人がある。淸少納言でもよろしい、また「源氏物語」の紫式部でもいゝが、よく彼女達の藝術を理解して居るやうに云ふ人が居るが、どうも怪しいものだとぼく思ふのである。

春の一日、「秋」の春のあけぼのを理解しやうとして、賀茂川の邊りにたゝづんで、東山の山ぎわを望んで詩人らしく幻想を畫いて見た事があるがそれも、結局、失敗に終つた。何故ならば、現實の世界、否、今の京都にには幸か不幸か、平安朝の詩的情緒は稀薄であり、廿世紀の文化が風景に人物に浸入してゐるからである、自動車が走る、モダン・ガールが通る、松竹の撮影が初まるなどで、淸少納言の書いた風景はどうしても理解出來ないのである。

吾々は彼女の書いた形式によつて、內容の何パーセントかを推察することが出來るであらうが、充分理解出來たか否か疑問だらうと思ふ。從つて、藝術の鑑賞なんて實に怪しげなものであらうと思ふのである、嘗て批評無要論などが文壇に起つたのもそのやうな理由からではなからうか？

2、憂鬱

春になると、非常に憂鬱になることがある。それが一週間、たいていは土曜日か日曜日なんだが、週期的に襲つてくる傾向があつた。これが襲つてくると自分自身をもてあまし、どうしていゝか解らなくなるのである。仕方がないから、ほんやり、檜の天井をぢつとながめる。すると、ふしあなのあるのを發見する。その形がひどく氣になつて癪にさわる。

今度は好きな作家の小說なり、詩なりを讀む、少し讀むと厭になつてくる、作品に表はれた會話が氣になつてきて癪にさわる。文章が長いと感じては癪にさわる。結句、最後は力まかせに讀んで居た本をたゝきつけるやうになる。もう、家に居られなくなつて十時だらうが、十二時だらうが、時間の問題なしに、ふいつと京極あたりへ飛び出す。すると、今度は散步してゐる人が愉快さうに話して居るのを見ると、また、癪にさわつてくる。電車の走り方が遲いと癪にさわる。何もかも癪にさわることばかりで、自分自身でも始末が惡くなつて來てどうにも出來なくなるのである。併し、このやうなアブノーマルな心理狀態も恐らく五時間位のもので、病で起きると、すつかり、もと通りになつてゐた。若し、不幸にして二日も三日もこの狀態が繼續すると、恐らく、ぼくは自殺するだらうと時々思ひ戰慄することがある。

このやうな心理狀態になる原因は金曜日の午後にあつた二時間の「英文學講習」のせいだらうと思ふ。この時間は敎授が彼の好きな古典より拔き出して、タイプしたのを學生に配るのである。そして質問する。發音もあるだらうし、單語の說明もあるだらうし、譯もあるだらう。何を訊ねられるか解らないのである。要するに、學生の方はひやひやして居るが、敎授の方はお構ひなしである。恐らくこの時間に自信のあるものは誰も居ないだらう。屠所に入れられた羊の有樣である。

容易な例題ならば、いゝがミルトンの「失樂園」などが出ると始末が惡い。主語が何處にあるのか、述語が何處にあるのか、判らない、それにラテン語の飜譯みたいで、調子が重く、詩形はブランク・バースでランビック・ペンタメーターなんだから大低の學生は二時間もやられると、ぼくでなくとも疲勞をぼへお、腐つてしまふ。各人あるだけの才能を以つて、敎授の質問に應答するんだが結局、君何年英語をやつて居ますかねと皮肉を浴せられると腐つてしまふのである。

ぼくは非常に憂鬱になるのはこのやうな時間を經過した後なのであつた。それが習慣になつたのか春になるとこの憂鬱が襲つて來る。

この春は是非、襲つて來ないやうに今から用心して、のんびり、過そうと思つて居る

◇學藝消息◇

△「農村實態調査第一回報告」農村實態調査をはじめ各種產業諸部門の實狀及かくれたる資源調査等滿洲產業開發に貢獻して來た臨時產業調査局では各方面に派遣せる調査員の活躍により報告書も續々蒐り之が整理につとめてゐたところ最近に至り一段落ついたので農村實態調査第一回報告は單行本とし、其他は實業部月刊四月號より順次發表することゝなつた

官場現形記（28）

李寶嘉 作　山泰裕 譯

‖第三回の五‖

錢典史は早速には手紙を出すといふこともしなかつた。時期の來るのを待つて仲間と一緒に、役所に出掛けて行つた。彼は廊下のあたりで、其處の偉い人に向つて三べん頭を下げた。それからシャンとなつて挨拶をした。その大人は、手眞似と一寸した身體つきで、何も尋ねもせずそのまま向ふへ行つてしまつた。

錢典史はやつて來た時に、手にいつぱい汗を握つてゐた以前のことを聞かれたらどう返事をしたものかと心配してゐたのである。幸ひ大人は小人の過失を記憶してゐなかつた。この關所を通過して、彼は大安堵をしたのであつた。だが彼の就くべき仕事は、現在代理の役人がやつてゐる。尤もこの男も、二、三ケ月前に何か上役の信用をなくするやうなことをして、何れは罷めることになつてゐた。それで錢典史にも暫くは遊んで貰ふつもりで彼を赴任させたのだつた。

所か、錢て男は、早く仕事に就きたくてたまらない。省城でぶらぶら遊んでゐるのはやり切れぬ。朝から晩まで、外をぶらついたり、友達を訪ねたり、東西の方向から覺えて、高い所は見上げたまゝ、ただ府廳の內部で上司の前に出て物を言へるほどの連中と極力仲好しにならうと努力した。每日きちんと服を着て役所に顔出ししたのである。

その後、彼に斯う話をしたものがあつた。

「いま支應局と營業處とをやつてゐる黃大人は、藩院の第一番のお氣に入りだ。どんな事でも彼にさへ頼んだら、藩院の前に行つて、うまく適當に言つてくれる云々」

錢典史はこの話をきいて、これはぜひとも良き聯絡をつけねばならんと考へた。彼はその計畫を極めて細かに樹てた。先づ將を射んとせば馬を射よの手で、彼は最初に人に紹介して貰つて戴升といふ黃大人の玄關番と友達になつた。それには品物をやつたり、持ち上げたりして、兄弟の如くに附き合ひ、打てば響くだけの交友關係を設定したのである。そしてゆつくりと自分が省政府に於いて良い位置を得んとしてゐる旨をほのめかした。戴升は

「さういふわけなのか、どうして早く言はなかつたのかね　そんなことならワシが骨折つてやるぜ」

と言つたものである。

錢典史はそれを聞いて、喜びのあまり顔がほころびそうだつたが、語を繼いで

「ぢやあ、明日の朝早く訪問しやうか？」

と訊いた。

戴升は

「いや、慌てちやいかん、朝は客が多いんだ、そんなひまはないよ、明日の晩方に來るがいゝ」

と言つたのだつた。

錢典史は

「いやどうも有り難う、あんたからうまく吹いてくれたらさうなりやあたしも一家が助かるわけで、あんたには莫大な恩義を感ずるわけだ。」

さう言つて立ち上つた。

戴升は答へた。

「まあ兄弟のやうな仲で、何を言ふんぢや。明日の晩又會はう。送らないよ」（つゞく）

家具と室内装飾の
御用命は
横山洋行
支店　新京日本橋通四十六
本店　奉天浪速通
支店　ハルビン埠頭區
ロールブラッグ
滿洲一手販賣
桐簞笥・和洋家具・窓掛・絨緞
ブラインド・リノリユウム・織物
敷物

一粒三百メートル
グリコ
草木を
愛しませう
グリコを
たべませう
五粒十錢
お母様方へ

總裁に阮文敎相 會長に韓特別市長

第二回新京吉林間マラソン大會の首腦者決る

來る六月二十一日擧行される盛京時報社並に本社主催、第二回新京吉林間驛傳マラソン大會の役員として總裁に文敎部大臣阮振鐸氏、會長に新京特別市長韓雲階氏を推戴することに去る準備委員會において滿場一致決定したが、九日主催者側ではこの旨を傳へるとゝもに就任方を正式交渉したところ、體育奬勵の意味を以て兩氏とも欣然受諾しなほ同大會開催についていろ〳〵激勵するところあつた【寫眞は(上)阮文相と(下)韓市長】

×××××××××××

西公園の入園料 十五日から徵收

春を迎へて新らしく粧ひ替へ

西公園の入園料はいよ〳〵十五日から徵收することゝなつたが公園事務所ではいろ〳〵公園內の施設に大童となつてゐるが子供のため特に新設されることになつたメリーゴーランドは公園事務所の西側の廣場に決定、驢馬乘用の驢馬も七頭買ひ込み兩三日中に着くことゝなつてゐるので昨年ベビーゴルフのあつた所で子供の驢馬乘りが始まる其の他神馬の廐舍は事務所の西隣花卉の陳列場附近に新設されるがこの工費として新京養馬俱樂部から一千圓の寄附があり不足分は小松兼松氏が補ふ筈である、瓢簞池の下手蓮池は埋め立てゝ廣場をつくり池から落ちる排水溝にはアヤメを植へて情調を添へることゝなつた

×××××××××××

新京神社裏手に 神具庫新設

新京市民の鎭守新京神社の境內は昨年秋玉垣が出來て面目を一新したが社殿の兩横側から後方は木柵があるのみで支那人や浮浪者が入り込み神域を穢すので氏子は數回會合を行ひこの木柵の箇所を煉瓦塀に改め社殿の後方には町內各區の神具を入れる神具庫を兼ねた煉瓦塀をめぐらすことに決定、既に設計も出來近く着工の運びとなつたがこの工費約一萬二千圓は全市其他から寄附を仰ぐ模樣である

恩賜財團普濟會が 優良社會事業團體に奬勵金

皇帝陛下御登極の砌りの御下賜金一百萬元を永世基金として設立された恩賜財團普濟會は設立以來國內醫藥救療に重點を置き施療班の派遣施藥の實施等に無告の窮民を賑恤し目下施療班三班を組織し間島省、錦州省、興安東省管內を巡回施療中であるが今回更に國內に於ける優良社會事業團體を詮衡して奬勵補助金を交附することゝなり第一次詮衡によつて左の團體を表彰することゝなつた

新京育嬰堂（新京四馬路通順胡同）
新京仁慈堂（新京西三道街路北）
新京貧民收容所（新京南關々帝廟隔壁）
同善堂育嬰所（奉天大西關高臺子廟胡同）
同善醫社（奉天小南關施牛胡同）
善鄰園（奉天商埠地三經路九緯路）
哈爾濱乞丐收容所（哈爾濱道外北十二道街）
在哈爾白系露人經營十四團體（在哈白系露人事務局）
吉林省城慈善院附屬育嬰堂（吉林省城二區後胡同）
吉林安養院（吉林東萊門外關帝廟內）
五敎道德院（齊々哈爾城內興隆街永和胡同）
龍江省城中心慈善會貧民養濟所（齊々哈爾中區城隍廟門牌一號）

なほ本年中に第二次詮衡を行ひ引續き奬勵補助金を交附する筈であるが、社會事業團體が奬勵補助金の交附を受けるのは滿洲建國以來最初のことでありこれによつて社會事業の發展が期待されてゐる

◇……大同公園茶室の地鎭祭

新京高等女學校 旅行團通信 第六信

―山田から二見ケ浦へ―

四月三日

外宮前に電車を降りた時空はどんより曇つてゐた鬱蒼と繁つてゐる大木、隙間なく敷き詰められた參道の小砂利何れも莊嚴の一分子とならないものはない。

清淨な御手洗場の水で手口を清めて步を進めた、道々の美しかつた事小石をふむ音の心好さ、美しく切り揃へられた芝生には眞白い綿布附鳥がクク（?）と遊んでゐた、やがて、衣食の道をお敎へ給ふた豐受大神を奉齋した大宮の近くに進みオーバーと帽子を脫ぎ服裝を整へて拜殿の鳥居をくゞつた、社は檜や白木造り茅葺でくろづんだ屋根に蒼い苔が生えてゐた、「最敬禮」堺田先生の號令で深く〳〵頭を下げ「直れ」の聲に頭を上げた時はたゞ〳〵敬虔な氣持そのものだつた。別宮へ參拜する爲に兩側から太い高い木々の覆ひかぶさつた畫なほ暗い石段を登り多賀宮土宮、月夜見宮風宮へ參拜した。

◇……◇

內宮行きの電車に乘る。黑々と繁る森が車中から見えて一入の神々しさを感じる。內宮前までは大分永い時間だつた、赤土がちら〳〵と見える林を縫ふ樣に電車は走つた白梅も所々に見えて美しく白い道路には浮いてる樣な小さな流れさへも添ふてゐた內宮前へ着いて宇治橋の傍で記念寫眞を撮つた。五十鈴川は青く澄みさつてゐて美しい大きな緋鯉がねむるが如くに魚紋を畫いて靜止してゐる、川向ふには紫紺色に山が煙り川上へと幾重にも〳〵かすみながら重つてゐる、白梅の香に花もまぢつて、この美しい流れを一層清めて居る手を洗ひ心を齋めて石段を登り、皇祖天照大神の御前に額いた「何事のおはしますかは知らねども かたじけなさに淚こぼるゝ」すべてが唯もうこの詞に言ひつくされて終つてゐる。一點の雜說もなく、身の內の透きでのつかれもすつかり忘れる樣な冷涼とした氣持で段を下りた、あたりには雲つくばかりの鬱蒼とした木々が立てこんでゐて苔むす匂ひが冷氣の中に漂つてゐる。

頭に赤い布をつけた老人の一行が、裾を端折りお參りを急いでゐた。

再び車中の人となり途中睡魔に惱まされ乍ら五時二見に着いた。宿舍朝日館の大きな事百五十枚のたゝみを敷きつめて周圍には手すりをめぐらし硝子戶が立つて居る、左手にすぐ伊勢灣をのぞみ波音が聞える、こんな美しい眺望の地に住む人の幸を羨みながら周圍の景光に見とれてゐた、と「明日の天氣が危まれる今日の中に夫婦岩を見て來ます」といふ先生のお聲にみんな嬉しくなつて飛び出した、今までのつかれもすつかり忘れた樣だ、道の兩側に小さなお店が立ち並び皆言を合せた樣なものを飾つてゐる、名物だけあつて榮螺壺燒が目立つ、おいしさうな香がしきりに胃腑をつく、一方は汀そこからもかぎなれない磯の香が打返す波に乘つて匂ふて來る

◇……◇

旅館より十分も步いた處に有名に過ぎる程有名な夫婦岩があつた、今日は大分波が荒れて居たが、えも言はれぬ整ふた眺めには變りはなかつた。暫くは魂のぬけた人間の樣に陶然と眼を据えて居ると、何時の間にかひく〳〵たれてゐた雲間から小さな雨がふり出して來た「アー雨、いよ〳〵雨に出會つた」と思ふ瞬間たまらなく嫌だつた、うつすりぬれて居る小砂利をふみしめながら大いそぎで宿に歸つた。九時より私達の部屋、大廣間で親睦會が開かれた、すべる樣に磨かれた舞臺で青い松の屛風を背景に眞白い足袋、胸高にしめた帶の舞子さん達がこの部屋にふさはしい雰圍氣を釀し出して一同の旅の疲れを踊り拔いて與れた、私達も合唱した、三味線に合せた、坂本さんの舞踊も見せて頂いて樂しく愉快にこの會を終る事が出來神都の靈氣の漲つて居る伊勢灣の夜氣につゝまれて十時頃就寢した。

義烈團公判開始

【大連國通】滿洲事變以來南京政府援助の下に全滿各地に秘密結社を組織して暗躍した義烈團一味徐萬誠（二七）以下七名に關する治安維持法違反事件第一回公判は九日午前十時より大連地方法院に於て中里裁判長、高橋、田中判官、米田檢察官立合の下に開廷徐以下の事實審理に入つたが被告達は「友人其他から誘惑されて南京軍官學校に強制的に入學させられたもので現在となつては此行動が惡かつたと考へます」と轉向の意志表示をなして居り正午一先づ休憩午後引續き續行の筈である

大タクを乘り廻す 七歲位の怪少年

長春座、驛、新京キネマ等々こ 奇怪な豪遊ぶり

年のころ七才位の男の子が手の切れるような五圓紙幣を取り出してタクシーを呼んで『活動だ、買ひ物だ、今度は驛に飛ばして與れ』と乘り廻しタクシーを手古摺らせてゐると言ふ春らしいトピックー

九日 午後零時十分ごろ羽衣町二丁目大タクへ徽章なしの學生帽に黑サージ服半ズボン着けた一見七八錢位の男の子が現はれ『小父さん自動車一台お願ひします』とやつて來たので早速出し子供を乘せて、うちにでもゆくのかと思つたら長春座に横着けさせ五圓札を出して啞然たる運轉手を尻目におつりをとつて館內に消えたがしばらく經つと『長春座へ自動車一台廻して與れ』と電話をうけたので行つて見るとさつきの子供が一人待つてゐて驛まで走り、途中で運轉手に『汽車見にゆくんだ』としやあ〳〵したもの、間もなく二時半ごろ驛から電話で自動車呼び新京キネマへ願ひますと

途中 吉野町廣春洋行でパチンコ十個買ひものして新京キネマには入つた、大タクでもそのころになつて始めて怪しいと感づいたが又もや四時四十分ごろ同じ子供の聲で公會堂までやつて與れと電話か來たのでどちらさんですと尋ねるとミツノですといつた切り大タクでは派出所に屆けると同時に公會堂までいつてみたらなんのことない、今度はそれらしい影もなく自動車は素がへりして來た

何處 の何といふ子供か全然判らず、その前日も矢張り正午ごろその子供か大タクから長春座まで乘つて五圓札で支拂つた事實が判りますく大タクでは呆れ返つてゐる

上原校長の遺德讚へ 記念品を贈る

父兄會が中心に廣く一般から

大正三年當時の長春尋常高等小學校長として赴任以來二十三年間初等敎育に全精魂を打ち込んで今日の室町小學校を築きあげた大恩人前室町小學校長上原種豐氏は此の度

後進 に途をひらいて勇退したので同校父兄會は數回會合種々協議の結果同氏の功績を顯揚しその德を讚へ且つは市民その他有志の心からなる謝恩の微意を表するため上原先生謝恩會を設け委員長大原萬千百、委員粟原重康、同小松兼松、同武田胤雄、同中野高一、同西川辰夫、同矢澤邦彥、同淸水豐太郎の諸氏が奔走して廣く一般から醵金して記念事業を起し記念品を

贈呈 することゝなつた、醵金の取扱

十年度滿鐵工業收入激增 創業以來の新記錄

【大連國通】滿鐵昭和十年度に於る工業收入、製油收入、委託商品收入は滿洲國內に於る地竇炭の增加並に昭和製鋼所、滿洲化學工業等に於る銑鋼、硫安の製產增加等によつて創業以來の新記錄を示し、三月卅一日迄の合計收入は一億一千五百九十六萬圓を示し九年度に比し九百廿四萬七千圓の增加となつてゐるが、之が內譯は（單位千圓）

▲工業收入九二、一一五▲製油收入六、四一六▲委託商品收入一七、四三一▲計一一五、九六二

となつてゐる

尙十年度中に於る石炭販賣數量は撫順炭八百八十九萬三千噸、其他の炭百十一萬八千噸、計一千一萬一千噸となりこれまた創業以來の最高數量で九年度に比し六十三萬三千噸の增加である

國都警備團誕生し 明日結成式擧行

「國都の護りは我等の手で」と討匪に國境警備に寧日なき軍警を銃後から應援して國都の護りを固くしやうと言ふ非常時に適切な企てが鄕軍新京聯合分會の手で具體化されることとなつた、即ち同分會は從來も日滿軍警の銃後の護りとして多方面の活躍を續けて來たが、この程前記の趣旨の下に在京全會員を糾合して國都警備團を結成、明十一日午後一時新京商業學校々庭に於て結成式を擧行する事となつた

邦人宅空巢御用

山東省生れ新京頭道街三十四號無職劉純厚（三五）は昨年十月二日市內祝町五丁目二番地古川勇方の盜難事件の容疑者としてかねて手配中であつたが八日午後十時ごろ四道街警察署前を徘徊中を被害者古川氏が發見、取押へ新京署へ屆けたが客年十月二日前記古川氏宅へ家人不在中侵入し手提金庫から七十餘圓衣類數點を盜んだことを自白した

訪日宣詔記念 慶祝武道大會規程發表さる

訪日宣詔記念慶祝武道大會は來る五月三日午前十時から新京商業學校講堂で滿洲帝國武道會の主催の下に行はれることゝなつたが大會規程は左の通りである

一、團體出場資格　新京に所在する各武道團體
二、選手出場資格　選手は各團體所屬員にて編成す
　柔道　選手五名、補欠一名とし三段以下たること
　劍道　選手五名補欠一名とし四段以下たること
三、試驗方法　トーナメント
四、勝負方法　柔道、點取一本勝負　劍道、點取三本勝負
五、審判規定　滿洲帝國武道會審判規定に依る
六、賞品　團體優勝　國務總理大臣旗及副賞　團體準優勝　賞品

箇所は正金、滿銀、正隆、新京各銀行、各區長、室町小學校等で醵金は一口金五十錢以上、締切期日は四月二十五日である

白經濟視察團 電々視察

日下來京中の白耳義經濟視察團長バーンロー氏一行三名は九日午後三時電々會社を訪問山內總裁外各重役と懇談の後社內各諸施設を熱心に視察するところあつたが特に放送局の最新優秀なる諸設備には少からず驚嘆した、それより總裁以下各重役と記念撮影の後四時辭去した、尙視察に當つては主として寬放送課長が說明を行つた

金總監披露宴

首都警察總監金榮桂氏は十二日午後六時ヤマトホテルへ日滿各機關代表を招待披露宴を張る

滿洲社會事業協會 創立五週年式に出席

滿洲社會事業協會創立五周年式は十二日午後二時から大連神明町神明高女校附屬神明會館に於て開催されるが新京から武田地方事務所長が出席される豫定

新京鐵道出張所長の伊藤太郞氏はネクタイの蒐集家であるが又有名な半襟の蒐集家でもある、同氏或る席上で西洋婦人の美はスカートの下からチラとのぞかせる所謂脚線美であるが日本婦人の美はクッキリぬけ出た眞白い襟足に纏はる半襟にあるね、實にあの美には何とも形容の出來ない情調があると半襟の禮讚

上原先生謝恩記念事業趣意

滿洲敎育に貢獻さるゝこと二十有餘年、特に新京敎育界にはその大半の十有三年の久しきに亘り夙夜盡瘁され、斯道の先覺者、重鎭としてその高邁の識見と熱烈なる至情を傾倒された新京室町小學校長上原種豐先生には今般敎育界より御勇退のことゝなりました、先生の功績や大その德や實に深きものあり吾等玆にその功績を顯現し、その德を永く讚へんとして有志相圖りて謝恩記念事業の計畫を發企いたしました、就ては大方諸賢左記御了知の上舊つて御贊助を希ひ此の擧の盛大ならんことを冀ふものであります

記

一、名稱　上原先生謝恩會
一、事業　記念事業、記念品贈呈
一、據金　一口金五拾錢　一口以上
一、據金取扱箇所、正金、滿銀、正隆、新京各銀行、各區長、室町小學校（新京外の送金は室町小學校宛）領收證は決算報告書を此て之に代ふ
一、締切期日　四月二十五日
一、記念事業並に記念品の選定及贈呈方法は發起人に一任せられたし
一、擧式の期日、方法は追つて新京三新聞及滿日新聞に廣告し通知に代ふ

昭和十一年四月
發起人（順序不同）
大原萬千百　粟原重康
小松兼松　武田胤雄
中野高一　西川辰夫
矢澤邦彥　淸水豐太郎

探偵小說 **殺人技師**(上映禁止讀)　森下雨村　茅場榮水畫

六六 秘められた過去(一)

この事件を大々的に報告した、どの新聞も、どの新聞もが、いかにして、彼が、粟原讓治の假名にかくれて被害者を誘惑したか。

そして、いかにして彼女を弄んだ揚句、つひに自動車の中で殺害するに至つたか――

それらのことを、まるで見てでもゐたかのやうに書立ててゐるのだつた。

絹代はさうした記事を讀んでゐる中に、激しい恥と怒りで、全身の血がたぎりたつのを感じた。誰も彼も、讓治が犯人であることに一點の疑ひも、感じてゐないやうだ。すれば、彼の潔白をしつてゐるものは、たゞあたし一人だけなのだ――。

さう思ふと、絹代はふいに烈しい勇氣が、身内に湧きたつてくるのを感じた。

さうだ。かうしてはゐられない。讓治との約束どほり、自分は眞犯人を捕へなければならないのだ。

彼女が新聞紙を投げ出して、すつくと椅子から立上がつた時、五十前後の品のいゝ婦人が入つて來た。絹代の母の梅尾夫人である。

「まあ、絹代さん、あなたもう起きてもいゝの?」

梅尾夫人は、絹代のただならぬ顔色を見ると、心許なげに注意した。昨夜からこつち、絹代は激しい昂奮のために、この優しい母に一方ならぬ心配をかけてゐたのである。

「御心配をかけて濟みません。もう大丈夫ですわ。」

「さう、それだといゝけど、あまり思ひつめて、體でもこはしてはと、わたしはそればかり心配でね。」

梅尾夫人は、それだけいつても、う涙ぐんでゐる。それも無理ではなかつた。母一人、娘一人。

年前に父親を失つてからは、その遺産で生活には困らなかつたけれど、まことに頼りない母娘二人の寂しい家庭だつた。

『お母樣、もう新聞社の人は歸りまして?』

『あゝ、みんな歸つていたゞいたよ。あなたに是非會ひたいといつてゐたけれど、病氣だからとお斷りしたの。』

『有難う。』

絹代は亂れた髪をかきあげながら、青白い顔で何か打ち案じてゐたが、ふと思ひ決したやうに、

『ねえ、お母さま。あたしこの間から、お訊ねしようと思つてゐたことがあるのよ。』

『あたしに? 何んなの?』

『うちのアルバムにある寫眞のことなの。』

『また、寫眞? どの寫眞のことだね。』

絹代は立つて用簞笥から大きなアルバムを取出すと、しばらくそれをめくつてゐたが、

『あゝ、この寫眞のことなのよ。』

と一枚の寫眞を指した。

見ると、それは色のあせた二十年、あるひはそれよりも古い寫眞らしく、そこには四人の若い男女が寫つてゐた。

二人は、制服制帽の一高の學生で、あとの二人は女學生らしく、當時流行つた二百三高地といふひさし髪に結つてゐた。

『まあ、お前、この寫眞がどうしたといふの?』

梅尾夫人は不審さうに、古ぼけた寫眞と、絹代の顔を見くらべた。

『あたし、この四人の人達のことを詳しくしりたいと思ふの。』

『それを知つて、どうしようといふの?』

それが絹代には、聞きたいのだつた。